目次

第 1 章 準備編

第 2 章 入門編

第 3 章 資料編

このたびは、「ピアノコード百発百中」をお買い上げいただきありがとうございます。この「ユーザーズマニュアル」は、「ピアノコード百発百中」をお使いいただくために必要な準備とインストールの方法、各機能の使い方などを解説しています。

このマニュアルの構成

このマニュアルは、3 つの章で構成されています。

第 1 章「準備編」では、「ピアノコード百発百中」をお使いいただくために必要な準備とインストールの手順を説明しています。

第 2 章「入門編」では、「ピアノコード百発百中」の基本的な使い方を説明しています。「入門編」を読みながら、実際にレッスンを進めてみてください。

第 3 章「資料編」は、補足的な解説や関連する資料をまとめてあります。

このマニュアルでは、「ピアノコード百発百中」のすべての機能を網羅していませんが、ひととおり読んでいただければおおよその使い方がおわかりいただけると思います。操作していてわからないことがあったら、F1 キーを押せば、その画面の説明をヘルプで見ることができます。ヘルプにはすべての機能が詳しく説明してあります。3-5. よくある質問とその答え（p.60）には、「ピアノコード百発百中」の使い方に関する質問とその答えを多数掲載してあります。これらの中に同じような質問がないか探してみてください。また、NETWORK の HOME PAGE には最新の FAQ（よくある質問とその答え）が掲載されています。それでもどうしても解決できない問題が発生した場合は、巻末の「ユーザーサポートについて」（p.69）をご覧ください。

重要　ご利用前にお読みください

本ソフトウェアをご利用される前に、下記ソフトウェア使用許諾契約書を必ずお読みください。
本ソフトウェアは、下記使用許諾契約の内容について同意していただいた場合のみご使用いただけます。

ソフトウェア使用許諾契約書

（株）河合楽器製作所は、お客様に対し、下記の内容で、今回お求めいただきましたソフトウェア製品（プログラム、データ及びマニュアル等の付属品）の使用を許諾いたします。

（著作権）
第１条　本ソフトウェア製品の著作権は、弊社および弊社が使用を許諾された原権利者が所有します。

（インストールおよび使用）
第２条　お客様は、特定の１台のコンピュータに限り本ソフトウェア製品をインストールして使用することができます。

（再販売等の禁止）
第３条　お客様は、本ソフトウェア製品及びその複製物を販売、譲渡、貸与、送信可能化または送信してはなりません。

（改変の禁止）
第４条　お客様は、本ソフトウェア製品を改変することはできず、第三者にこれらの行為を行なわせることもできません。

（リバースエンジニアリング等の禁止）
第５条　 お客様は、本ソフトウェア製品をリバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルすることはできません。

（保証・危険負担等）
第６条
（１）弊社は、本ソフトウェア製品の媒体またはマニュアルに物理的な瑕疵がある場合、お買い上げ後９０日間に限り、弊社の判断に基づき無償で交換いたします。

（２）前項記載の場合が、火災、地震、第三者の行為その他の事故、お客様の故意もしくは過失等、弊社の責に帰さない理由により生じたときは、弊社は保証の責任を負わないものとします。

（その他の保証）
第７条　弊社は、本ソフトウェア製品に関して前条に規定されているものを除き一切の保証をいたしません。

（責任の負担）
第８条
（１）弊社は、本ソフトウェア製品の使用によりお客様または第三者が被った直接的または間接的ないかなる損害についても、第６条に基づいて弊社が保証する場合を除いて、その責任を負いません。
（２）いかなる場合にも、本契約に基づく弊社の責任は、本ソフトウェア製品についてお客様が支払った金額を上限とします。

（仕様の変更）
第９条　お客様への予告なしに本ソフトウェア製品の仕様を変更することがあります。

（契約の解除）
第１０条　弊社は、お客様が本契約の条項に違反した場合、通知により本契約を解除することができ、かつ、被った損害の賠償をお客様に請求することができるものとします。かかる場合、お客様は本ソフトウェア製品およびその複製物を全て廃棄するものとします。

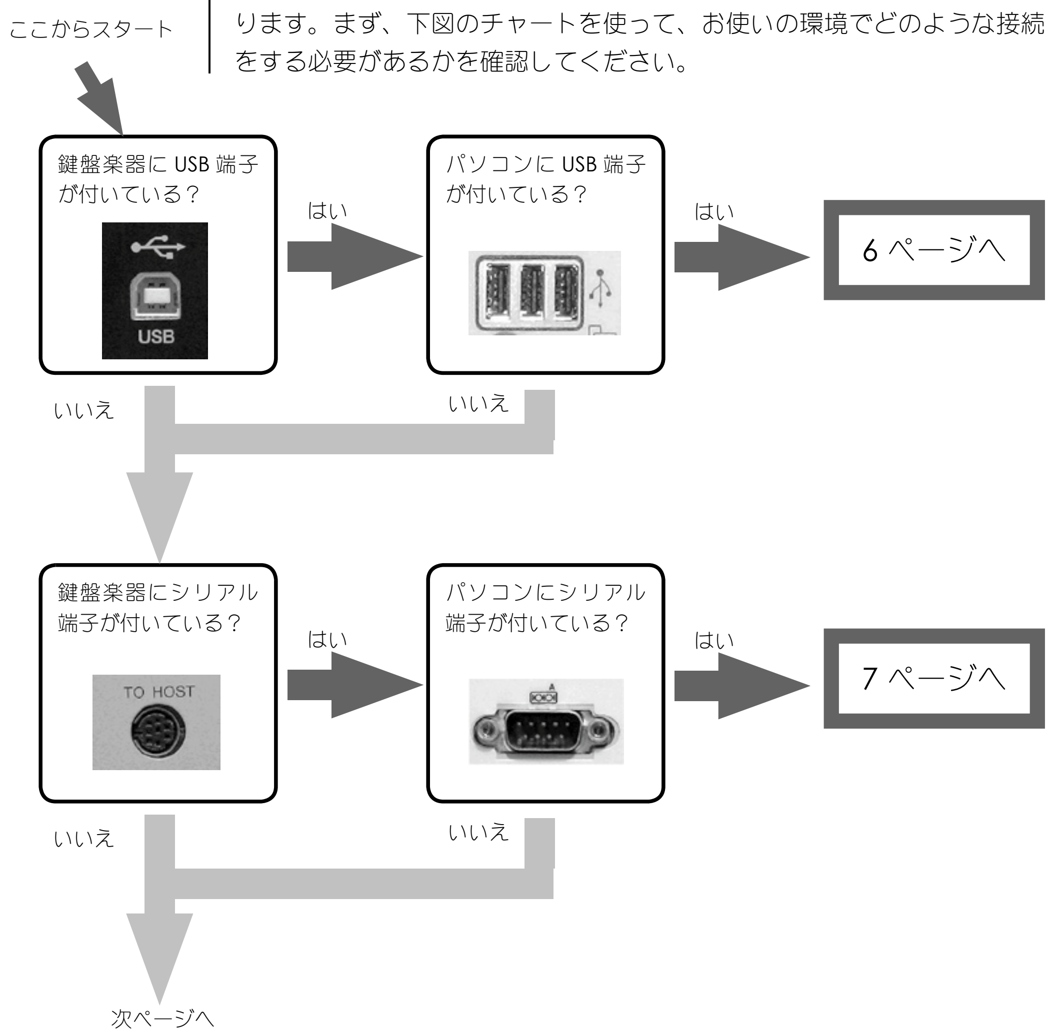
第1章 準備編

1-1. 鍵盤楽器とパソコンの接続

「ピアノコード百発百中」をお使いいただくには、あらかじめパソコンと鍵盤楽器を接続する必要があります。以下の手順に従って、機器の接続を行ってください。

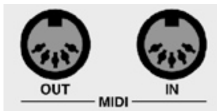
● 鍵盤楽器とパソコンの外部端子を確認する

鍵盤楽器に備わっている外部接続端子、およびパソコン側に備わっている外部接続端子の種類によって、鍵盤楽器とパソコンを接続する方法は異なります。まず、下図のチャートを使って、お使いの環境でどのような接続をする必要があるかを確認してください。



前ページから

鍵盤楽器に MIDI 端子が付いている？



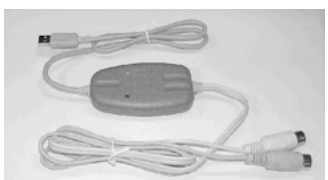
いいえ

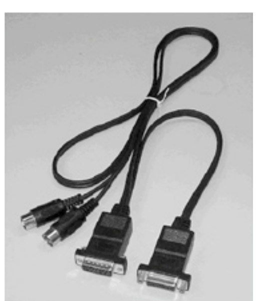
残念ながら、その鍵盤楽器では「ピアノコード百発百中」は使えません。新しい鍵盤楽器をお買い求めください。

はい

鍵盤楽器側が MIDI 端子だけの場合、パソコンとの接続には「MIDI インターフェイス」が必要になります。「MIDI インターフェイス」にはさまざまな種類のものがありますが、大きく「ケーブルタイプ」のものと「ボックスタイプ」のものに分けることができます。

ケーブルタイプの場合





8 ページへ

ボックスタイプの場合

シリアルケーブルや USB ケーブルを使ってパソコンと接続する MIDI インターフェイスです。MIDI 音源を内蔵したものや、オーディオインターフェイス機能と兼用のものなど、さまざまなタイプがあります。



9 ページへ

● 鍵盤楽器とパソコンを USB ケーブルで接続する

鍵盤楽器とパソコンの両方に USB 端子が備わっている場合は、この方法で接続します。その他の接続方法については p.4 ～ 5 のチャートで確認してください。

1. 鍵盤楽器、パソコン、USB ケーブルを用意します。

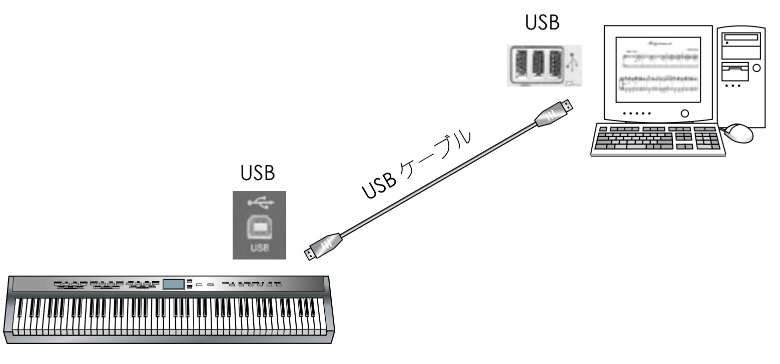
2. 鍵盤楽器とパソコンを USB ケーブルで接続します。

3. 鍵盤楽器に入出力の選択スイッチがある場合は、USB を選択します。

正しく接続されているかどうかは、「ピアノコード百発百中」を起動して SETUP で行います。（→ p.20 以降参照）

鍵盤楽器の USB ドライバをパソコンにインストールしていない場合は、鍵盤楽器の取り扱い説明書をご覧になり、必要に応じてドライバのインストールを行ってください。

この後、音の出力についての接続を確認します。p.10 へ進んでください。



● 鍵盤楽器とパソコンをシリアルケーブルで接続する

鍵盤楽器とパソコンの両方にシリアル端子が備わっている場合は、この方法で接続します。その他の接続方法についてはp.4 ～ 5 のチャートで確認してください。

1 鍵盤楽器、パソコン、シリアルケーブルを用意します。

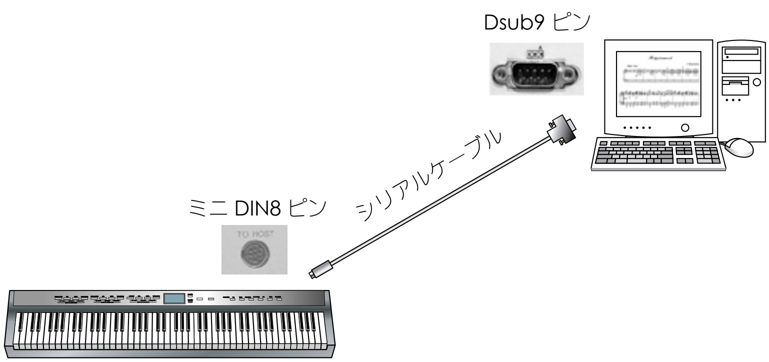
2 鍵盤楽器とパソコンをシリアルケーブルで接続します。鍵盤楽器側は、「TO HOST」などと表示された円形の 8 ピン端子です。パソコン側は IOIOI のように表示された Dsub9 ピン端子です。

3 鍵盤楽器に入力の選択スイッチがある場合は、お使いのパソコンの種類に合わせて選択します。（通常は PC-2 などです。）

正しく接続されているかどうかは、「ピアノコード百発百中」を起動して SETUP で行います。（→ p.20 以降参照）

鍵盤楽器のシリアル MIDI ドライバをパソコンにインストールしていない場合は、鍵盤楽器の取り扱い説明書をご覧になりドライバのインストールを行ってください。

この後、音の出力についての接続を確認します。p.10 へ進んでください。



● 鍵盤楽器とパソコンを MIDI 変換ケーブルで接続する

鍵盤楽器側に MIDI 端子が付いており、パソコン側に USB 端子またはゲームポート（サウンドカードのジョイスティック端子 =Dsub15 ピン端子）が備わっている場合は、この方法で接続します。その他の接続方法については p.4 ～ 5 のチャートで確認してください。

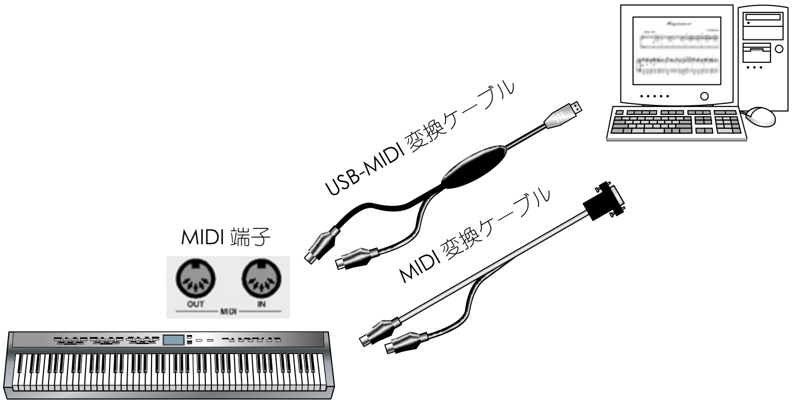
1 鍵盤楽器、パソコン、MIDI 変換ケーブルを用意します。

2 鍵盤楽器とパソコンを MIDI 変換ケーブルで接続します。詳しくは変換ケーブルの取扱説明書をご覧ください。

正しく接続されているかどうかは、「ピアノコード百発百中」を起動して SETUP で行います。（→ p.20 以降参照）

ゲームポートタイプの変換ケーブルの場合、ゲームポートを持つサウンドカードのドライバのインストールが必要です。USB-MIDI 変換ケーブルの場合、専用のドライバをインストールする必要があります。これらのドライバをパソコンにインストールしていない場合は、サウンドカードや変換ケーブルの取り扱い説明書をご覧になりドライバのインストールを行ってください。

この後、音の出力についての接続を確認します。p.10 へ進んでください。



● MIDI-I/F 装置を介して鍵盤楽器とパソコンを接続する

パソコン用外部 MIDI 音源や、USB-MIDI インターフェイス機器を使って鍵盤楽器とパソコンを接続する場合は、この方法で接続します。その他の接続方法についてはp.4 ～ 5 のチャートで確認してください。

1 鍵盤楽器、MIDI インターフェイス装置、パソコンを用意します。

2 MIDI インターフェイス装置とパソコンを接続します。詳しくは、インターフェイス装置の取扱説明書をご覧ください。

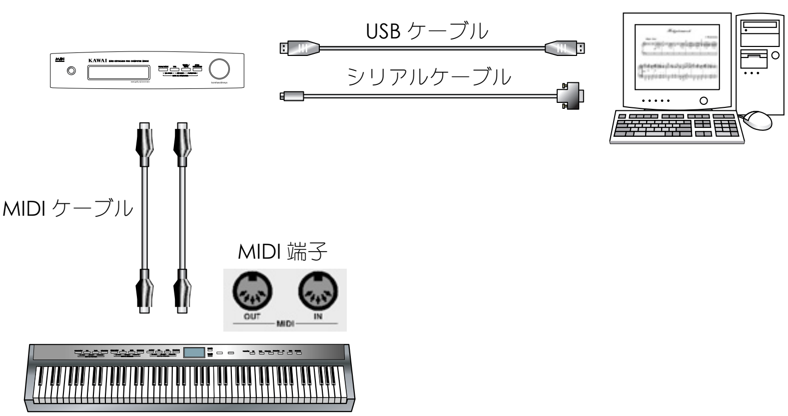
3 鍵盤楽器の MIDI 端子とインターフェイス装置の MIDI 端子を、MIDI ケーブルで接続します。

正しく接続されているかどうかは、「ピアノコード百発百中」を起動して SETUP で行います。（→ p.20 以降参照）

MIDI インターフェイス装置のドライバをパソコンにインストールしていない場合は、MIDI インターフェイス装置の取り扱い説明書をご覧になりドライバのインストールを行ってください。

この後、音の出力についての接続を確認します。p.10 へ進んでください。

電子ピアノのように、鍵盤楽器が音源を持ち、その音を使って練習する場合は、MIDI インターフェイスと鍵盤楽器間は 2 本の MIDI ケーブルで接続します。音源を持たない鍵盤楽器を使う場合や、インターフェイス装置の音を使って練習する場合は、鍵盤楽器の MIDI-OUT 端子とインターフェイスの MIDI-IN を 1 本の MIDI ケーブルで接続します。



準備編

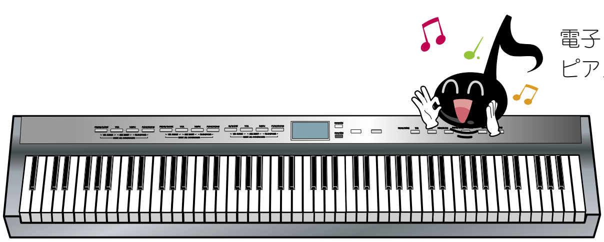
1-2. 音の出力について

「ピアノコード百発百中」は、あなたが鍵盤楽器を弾いた音、パソコンが演奏するメトロノームや伴奏の音、効果音や BGM など、いくつかの種類の音をパソコンや電子ピアノなどから出力します。これらの音をきちんと聴けるようにするためには、パソコンや電子ピアノなどとスピーカーやヘッドホンなどとを適切に接続する必要があります。

接続の方法にはさまざまな組み合わせが考えられるため、ここではそのすべてを説明することはできません。以下の接続のヒントを参考にして、正しく音が出るように接続してください。

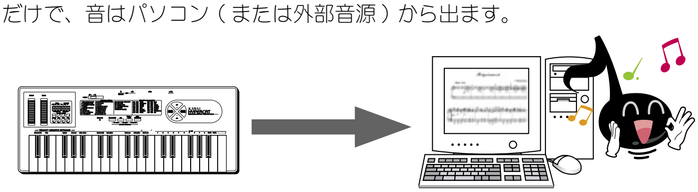
● まず鍵盤楽器が音源を持っているかどうか確認しましょう

お使いの鍵盤楽器は音源を持っていますか？いわゆる電子ピアノであれば、もちろんそれ自体が音源を持っており、楽器のスピーカーから音が出ます。しかし、DTM のデータ入力用キーボードやマスターキーボードの場合、楽器自体は音を出すことはできません。このようなタイプの鍵盤楽器をお使いの場合は、あなたが弾いた演奏情報が、パソコンに内蔵された MIDI 音源や、パソコンに接続された外部音源に送られて、そこから音が出ることになります。



電子ピアノの場合、
ピアノから音が出ます。

入力専用の鍵盤楽器は、演奏データをパソコンや音源装置に転送するだけで、音はパソコン（または外部音源）から出ます。



● 出力される音の種類と出力される装置の関係
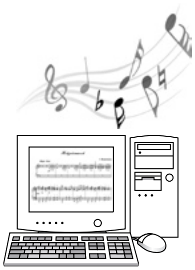
「ピアノコード百発百中」で出力される音には、大きく分けて次の 3 種類があります。それぞれ、どこから出力されるのか確認してみましょう。

A. あなたが弾いた音そのもの



左ページで説明したように、電子ピアノのような音源を持っている鍵盤楽器の場合は、その鍵盤楽器のスピーカーや出力端子 (LINE OUT や HEADPHONE など) から出力されます。しかし、音源を持っていない鍵盤楽器の場合は、一旦パソコンにデータが送られてから次の B と同じ装置で出力されることになります。

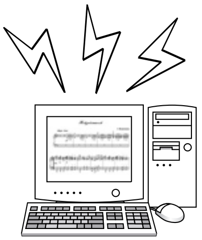
B. 画面の BGM や伴奏、メトロノームの音など



パソコンに内蔵された MIDI 音源やパソコンの外部に接続された MIDI 音源から出力されます。その音は、パソコンのスピーカーまたは、MIDI サウンドカードや MIDI 音源に接続されたスピーカーやヘッドホンから聴こえてきます。

B は、MIDI デバイスから出力される音楽の音、**C** は Windows の コントロールパネルの「サウンドとオーディオデバイス」で「音の再生」に設定されているデバイスから出力されます。

C. 銃声などの効果音



パソコンのオーディオデバイス装置から出力されます。Windows が起動するときの効果音などと同じです。通常はパソコンのスピーカーから聴こえてくるはずです。

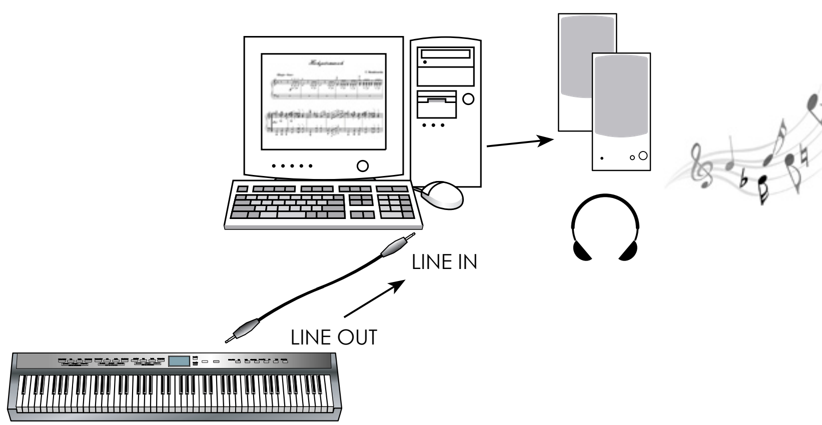
● 3 種類の音をバランスよく聴くためには

さて前ページで説明した 3 種類の音ですが、これらを同時にバランスよく聴けるようにするためにはちょっとした工夫が必要です。それぞれがスピーカーから発音されるのであればまだ何とかなりますが、部屋でヘッドホンを使って練習する場合などはこの工夫が必須となります。

> 音源なしの鍵盤楽器を使って、MIDI の演奏も効果音の出力もパソコンの内蔵音源で行う場合は、そのままパソコンやサウンドカードのスピーカーやヘッドホンだけで聴くことができます。そのような場合は、以下の説明は読み飛ばしてください。

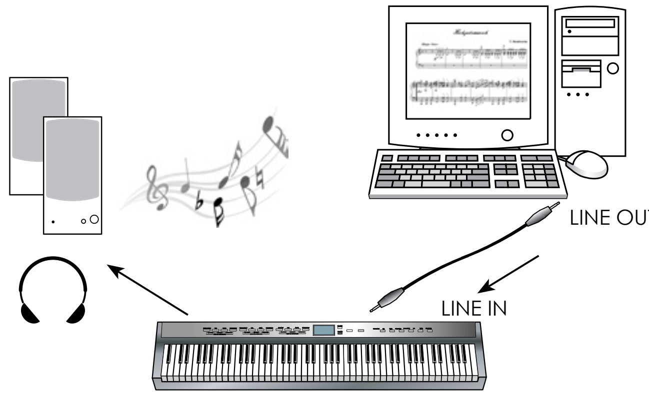
■すべての音をパソコンに集める

パソコンのサウンドカードに LINE IN（または AUDIO IN）端子があり、鍵盤楽器に LINE OUT 端子がある場合は、これらの端子をオーディオケーブルで接続することによって、すべての音をパソコンから聴くことができます。



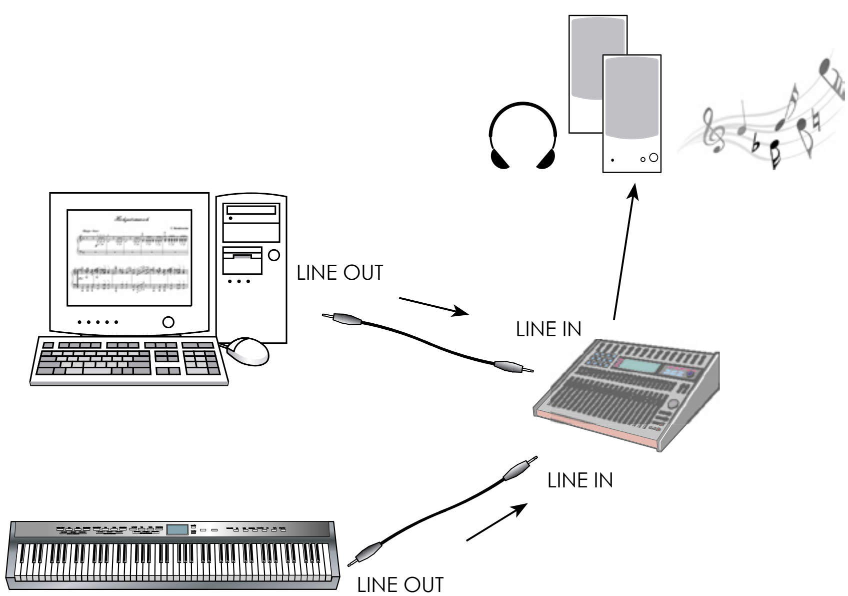
■すべての音を電子ピアノに集める

電子ピアノに LINE IN 端子があり、パソコンのサウンドカードに LINE OUT 端子があれば、これらを接続して電子ピアノのスピーカーやヘッドホンから聴くことができます。



■ミキサーを使ってバランスを調整する

上の方法では、パソコンのミキサーコントロールや各装置のボリュームを操作することによって音量のバランスを調整することはできますが、少々面倒です。そのような場合は、市販のオーディオミキサーを使って調整すると便利です。パソコン（またはサウンドカード）の LINE OUT と電子ピアノや外部 MIDI 音源の LINE OUT をすべてミキサーに接続して、そこからヘッドホンやスピーカーに接続すれば OK です。



1-3. インストール

WindowsXP や Windows2000 をお使いの場合は、Administrator（コンピュータの管理者）でログインしてください。

お使いのパソコンに「ピアノコード百発百中」をインストールする手順を説明します。

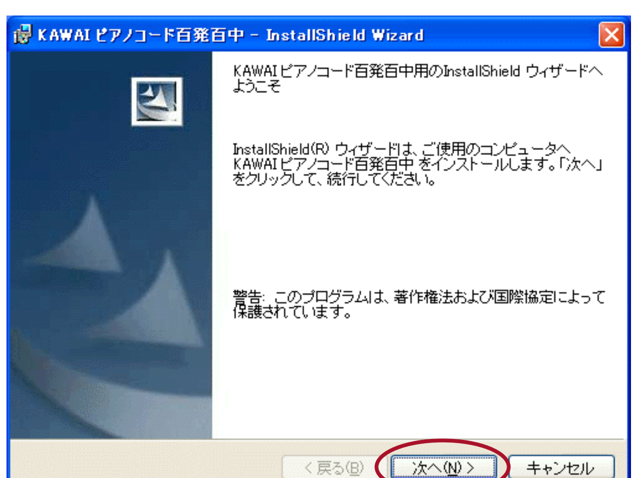
1 「ピアノコード百発百中」の CD-ROM を、パソコンの CD-ROM ドライブに挿入すると、自動的に「KAWAI ピアノコード百発百中 インストール CD」プログラムが起動します。［インストール］ボタンをクリックしてください。

自動的にこのプログラムが起動しない場合は、「マイコンピュータ」の CD-ROM ドライブを開いて、「EvansCD」プログラムをダブルクリックして起動させてください。

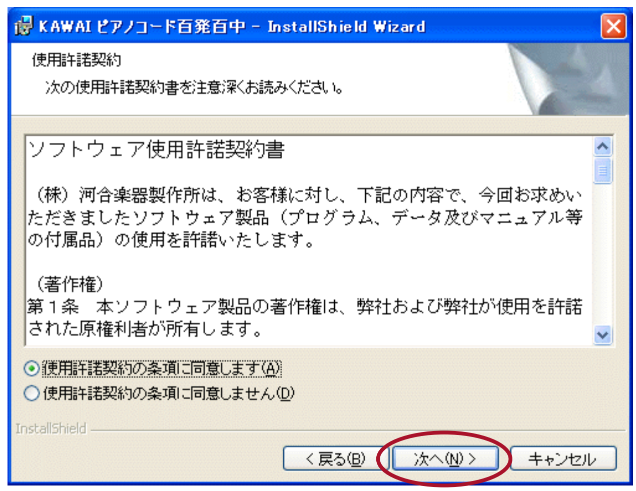


2 「KAWAI ピアノコード百発百中 - InstallShield Wizard」が表示されます。［次へ(N)＞］をクリックしてください。

この画面が表示される前に、お使いの OS によっては再起動を促されることがあります。その場合は、指示に従ってパソコンを再起動してください。



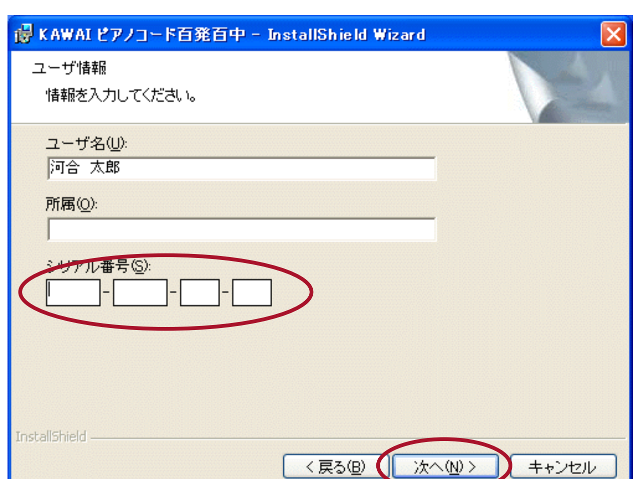
3 「ソフトウェア使用許諾契約書」が表示されます。ソフトウェアの著作権や使用上の注意事項が記載されていますので、必ずお読みください。条項に同意される場合はインストールを続行できます。[使用許諾契約の条項に同意します (A)] をクリックして選択し、次へ (N) > をクリックしてください。



4 「ユーザ情報」のダイアログボックスが表示されます。ユーザ名、所属 (任意) およびシリアル番号を入力してください。シリアル番号はこのユーザーズマニュアルの裏表紙にシールで貼りつけてあります。

シリアル番号は、半角のアルファベット大文字 (ABCD など) と数字の組み合わせです。アルファベット小文字 (abcd など) は使用できませんので注意してください。

大文字は、Caps Lock をオンにするか、Shift キーを押したままタイプして入力します。

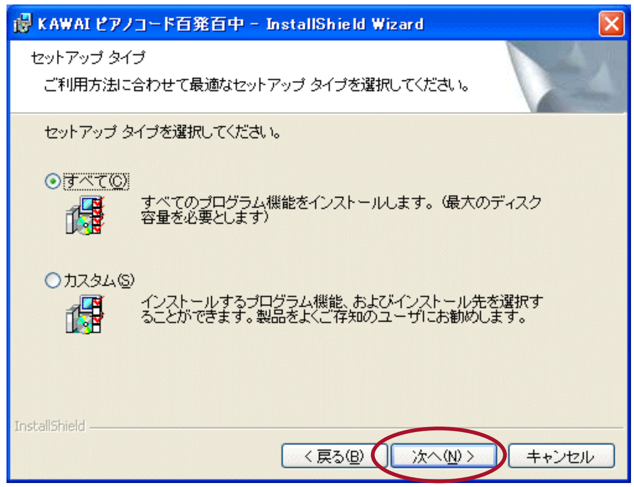


シリアル番号を入力したら、次へ (N) > をクリックしてください。

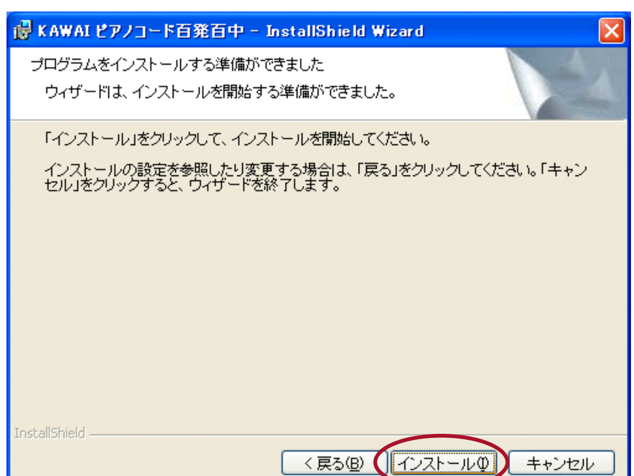
準備編

インストールするドライブを標準とは別の場所に指定したい場合や、インストール先に十分な余裕がないためにインストールするファイルを一部制限したい場合は、［カスタム (S)］を選択してください。

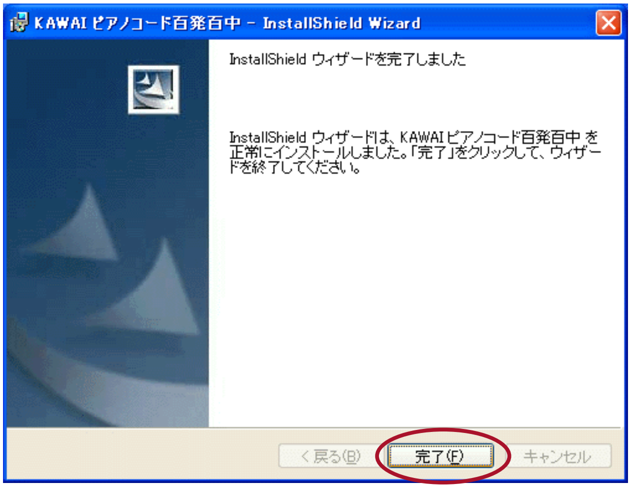
5 「セットアップタイプ」を選択するダイアログボックスが表示されます。通常はこのまま、［すべて (C)］を選択して、［次へ (N) >］をクリックしてください。



6 以上でインストールの準備が整いました。［インストール (I)］をクリックしてください。



7 インストールが完了すると次のようなダイアログボックスが表示されます。 完了(F) をクリックしてください。



8 以上で、インストール作業は完了です。CD-ROM ドライブから「ピアノコード百発百中」の CD-ROM を取り出してください。

1-4. ユーザー登録

「ピアノコード百発百中」のユーザー登録はインターネット経由でオンラインで行います。

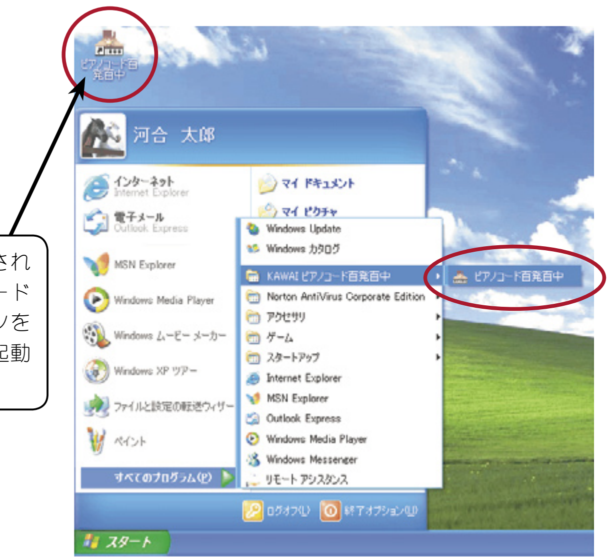
ユーザー登録の方法については、2-7. ネットワークを利用した機能（p.48）で解説されています。ユーザー登録されると、「ユーザーサポート」（p.69）などのサービスが受けられます。

第2章 入門編

2-1.ピアノコード百発百中を起動しよう

本書では、WindowsXPでの操作を例にとり説明していきます。右の起動方法についてはWindows98/Meや2000の場合、［スタート］ボタンをクリックして［プログラム］の中から選択して起動します。

Windowsの［スタート］をクリックして、［すべてのプログラム］の中から「KAWAIピアノコード百発百中」を選択し､「ピアノコード百発百中」をクリックしてください。



デスクトップに作成されている、［ピアノコード百発百中］のアイコンをダブルクリックして起動することもできます。

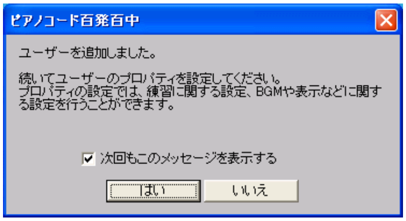
「ピアノコード百発百中」が起動し、LOGIN画面が表示されます。



● ユーザーの追加と MIDI 機器の設定

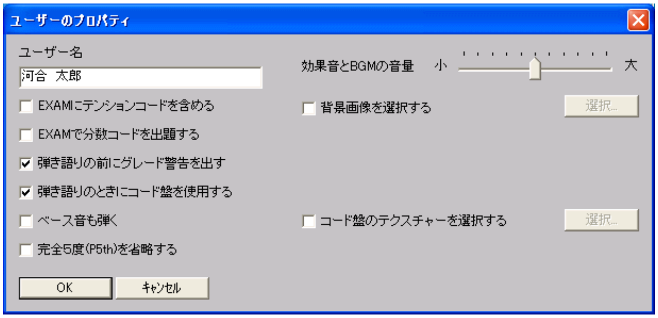
ここで自動的に追加される「ユーザー名」は Windows の使用者名として設定されている名前が使われます。このユーザー名を変更したい場合は、次の「ユーザーのプロパティ」ダイアログボックスで変更してください。

1 初めて「ピアノコード百発百中」を起動したときは、自動的にユーザーが追加され、以下のダイアログボックスが表示されます。 はい をクリックしてください。



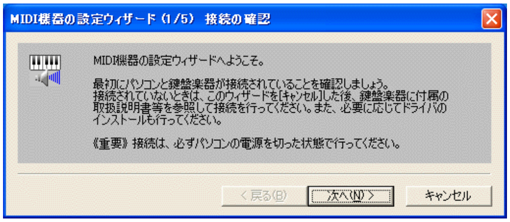
後でユーザーのプロパティを変更するときは、SETUP 画面の「ユーザー設定」グループボックスにある プロパティ… ボタンを押して、「ユーザーのプロパティ」ダイアログボックスを開きます。

2 以下の「ユーザーのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。ここでレッスン時のいろいろな設定を行うことができますが、最初のうちはデフォルトの設定のままで OK です。 OK をクリックします。



この「MIDI 機器の設定ウィザード」は、SETUP 画面の「機器設定」グループボックスにある 設定ウィザード… ボタンを押せば、いつでも起動できます。

3 次に MIDI 機器の設定を行います。「MIDI 機器の設定ウィザード」が自動的に起動します。



MIDI 機器の設定を行うためには、1-1.「鍵盤楽器とパソコンの接続」(p.4) の手順に従って鍵盤楽器が正しく接続されており、必要なデバイスドライバがインストールされている必要があります。

「MIDI 機器の設定ウィザード」では、パソコンに接続された鍵盤楽器とのインターフェイスドライバや、メトロノームや伴奏などを演奏する MIDI デバイスのドライバ、使用する鍵盤楽器の鍵の数を対話形式で設定します。

次へ(N) > をクリックして、ウィザードの 2/5(ウィザードが全部で 5 ページあるうちの 2 ページ目という意味です)に進んでください。

正しいデバイスが選択されている場合は、パソコンに接続された鍵盤楽器を弾くと、このダイアログボックスの下に表示されている鍵盤の鍵の色が変わります。どの入力デバイスを選択しても、鍵の色が変わらない場合は、

◆鍵盤楽器の電源は入っているか

◆鍵盤楽器とパソコンが正しく接続されているか

◆ MIDI デバイスドライバは正しくインストールされているか

を確認してください。（→ p.4 参照）

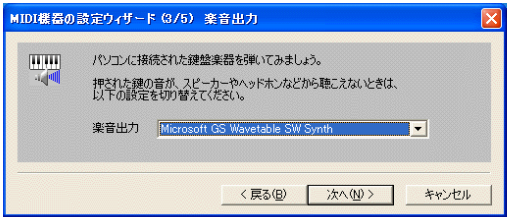
4 「MIDI 機器の設定ウィザード（2/5）鍵盤入力」では、鍵盤楽器からパソコンへの入力デバイスを設定します。



入力デバイスを変更するにはこのボタンをクリックしてから選択します。

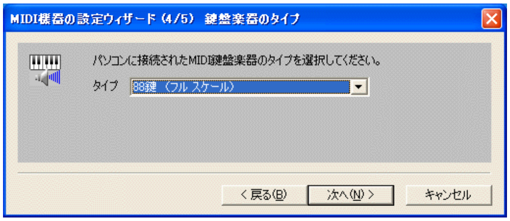
入力デバイスを選択したら 次へ (N) > をクリックしてください。

5 「MIDI 機器の設定ウィザード（3/5）楽音出力」では、パソコンが演奏するメトロノームや伴奏に使用する出力デバイスを選択します。



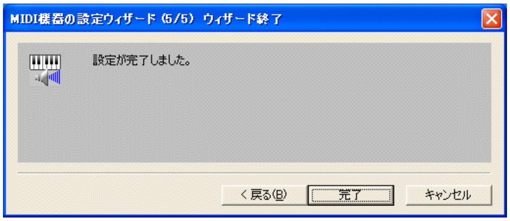
出力デバイスを選択したら 次へ (N) > をクリックしてください。

6 「MIDI 機器の設定ウィザード（4/5）鍵盤楽器のタイプ」では、鍵盤楽器の鍵の数（スケール）を設定します。

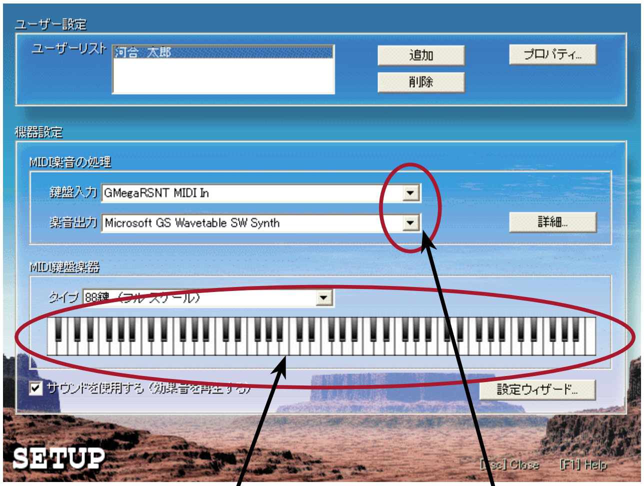


正しく設定できたら 次へ (N) > をクリックしてください。

7 これで MIDI 機器の設定は完了です。 完了 をクリックして、「MIDI 機器の設定ウィザード」を閉じてください。



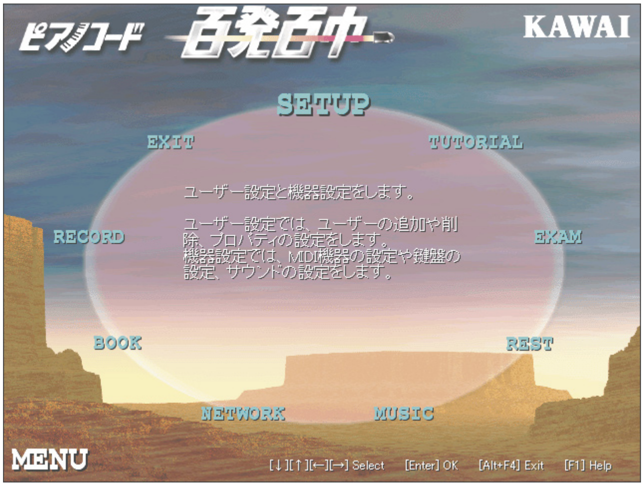
8 「MIDI 機器の設定ウィザード」を閉じると、以下の SETUP 画面が表示されます。この画面で正しく MIDI 機器の設定ができたかどうかを確認します。



パソコンに接続された鍵盤楽器を弾くと、弾いた鍵に対応する鍵の色が変わります。

鍵盤楽器を弾いても鍵の色が変わらない場合は、[鍵盤入力] の右側にある下向き三角ボタンを押して入力デバイスを変更してみてください。また、鍵の色は変わるが音が出ない場合は、[楽音出力] の右側にある下向き三角ボタンを押して出力デバイスを変更してみてください。

正しく設定できたら ESC キーを押すかマウスを右クリックしてください。MENU 画面が表示されます。



この画面の BGM がすべてピアノの音で再生される場合は、その楽音出力デバイスは「ピアノコード百発百中」での使用には適していません。別のデバイスを選択して、BGM がピアノとベース、ドラムで再生されるようにしてください。(→ p.63「メトロノームの音がピアノの低音で鳴る」参照)

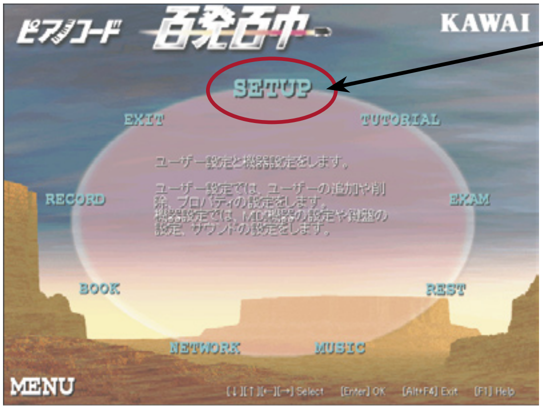
「ピアノコード百発百中」では画面を切り替える（前の画面に戻る）ときに ESC キーまたは右クリックを使います。

2 度目以降に起動したときは、LOGIN 画面の後、この MENU 画面が表示されます。

2-2. メニュー

MENU 画面は、「ピアノコード百発百中」のトップメニュー画面です。この画面からいろいろな画面へ移動することができます。

● MENU 画面の操作（各画面共通の操作）



現在選択されている項目。ここをクリックするか、Enter キーを押すとその項目の画面に移動します。

他の項目をクリックすると、その項目が一番上に表示され選択されます。

MENU 画面のように楕円状に項目が並べられている画面では、以下のように項目を選びます。

一番上に他より大きな字で表示されている項目が、現在選択されている項目です。この状態で Enter キーを押すかその項目をクリックすると、現在選択されている項目の画面へ移動します。

他の項目を選択するには、選択したい項目をクリックします。するとその項目が一番上に表示されます。矢印キー ↑ ↓ ← → を使うと順に選択を変更できます。

また、各画面共通の操作は以下のとおりです。

Enter キーを押すか、現在選択されている項目をクリックするとその項目が実行されます。

ESC キーを押すか、マウスを右クリックするとその画面を終了して前の画面へ戻ります。

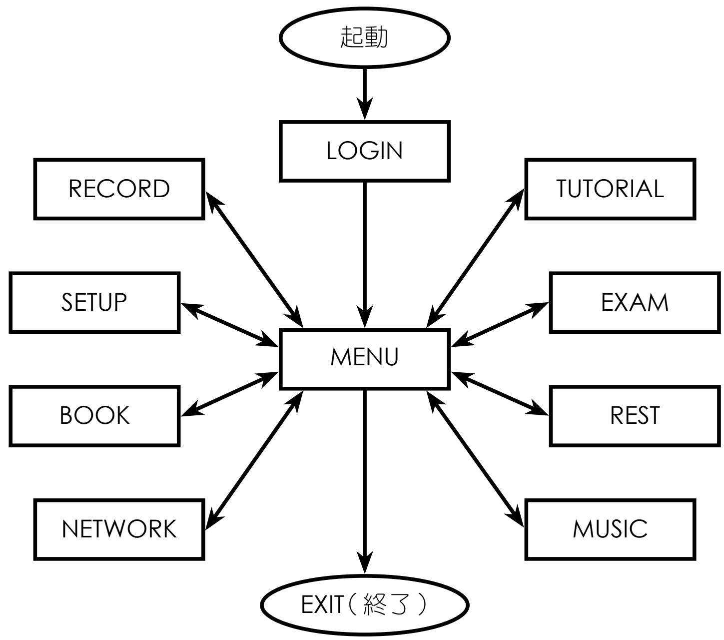
F1 キーでその画面に関するヘルプを表示します。

ショートカットキー一覧は、p.56-58 にあります。

入門編

● 各画面の概要

「ピアノコード百発百中」の構成を図にすると次のようになります。LOGIN の後は MENU から全ての項目に移動できます。MENU 画面で EXIT を選択するか、LOGIN または MENU 画面で Alt キーを押しながら F4 キーを押すと「ピアノコード百発百中」を終了します。



ユーザーが 1 人しか設定されていないときは、起動後自動的に MENU 画面に移動します。

● LOGIN（ログイン）
レッスンするユーザーを選択します。
ユーザーが 1 人しか設定されていないときは、自動的に MENU 画面に移動します。

● MENU（メニュー）
各画面に移動するためのトップメニュー画面です。

● SETUP（設定）
ユーザーの設定や、MIDI 機器などの設定を行います。

● TUTORIAL（チュートリアル）
このソフトを使う上で必要なコードの基本的な勉強をします。初心者の方はまずここをご覧ください。

● EXAM（グレード試験）
コード盤を使ってさまざまなコードをトレーニングします。また、グレード試験で腕前を診断できます。

● REST（休憩）
コードを使ったゲームなどができます。

● MUSIC（弾き語り）
実際の曲に合わせたコードの習得ができます。

● NETWORK（ネットワーク）
インターネットに接続してユーザー同士の対戦やセッションを楽しめます。

● BOOK（コードブック）
わからないコードはここで調べます。コードに関する応用的な知識も習得できます。

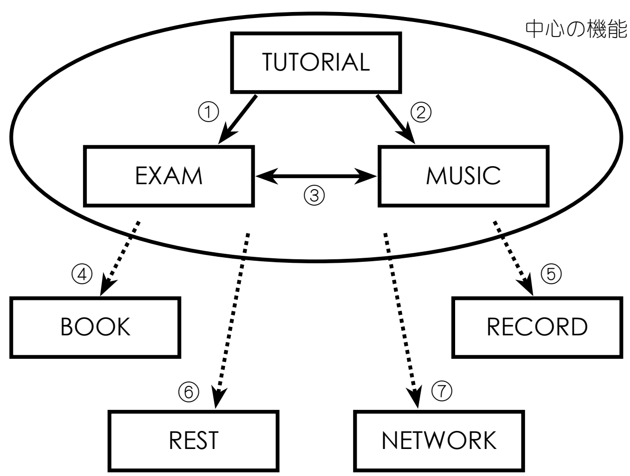
● RECORD（成績）
ハイスコアランキングや、あまり得意ではないコードなどいろいろな成績が閲覧できます。

● EXIT（終了）
「ピアノコード百発百中」を終了します。

● レッスンの進め方

まず、TUTORIAL（チュートリアル）をよく読みましょう。
TUTORIAL でコードに関する基礎知識を習得できたら次は、① EXAM（グレード試験）へ進みましょう。EXAM ではいろいろなコードの習得を目指します。
実際の曲で練習したい場合は、② MUSIC（弾き語り）へ進みましょう。MUSIC では添付曲や歌本から自分で作った曲でレッスンができます。③ EXAM である程度コードが身についてから MUSIC で弾き語りしてもよいでしょう。
EXAM や MUSIC で分からないコードがあったら④ BOOK（コードブック）で調べましょう。BOOK には分からないコードを簡単に探し出す CHORD NAME や、コードに関する応用的な情報があります。
また、EXAM や MUSIC などの成績は⑤ RECORD（成績）で見ることができます。
レッスンの息抜きに⑥ REST（休憩）や⑦ NETWORK（ネットワーク）を利用するのもよいでしょう。

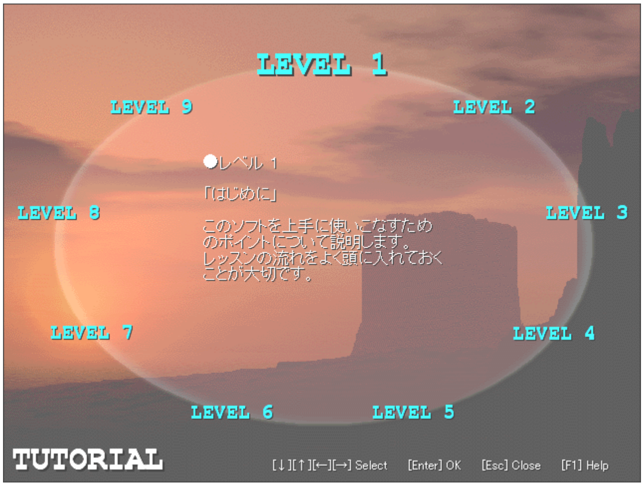
レッスンの主な流れ



上の図では、① EXAM、② MUSIC となっていますが、これらは必ずしもこの順番でレッスンする必要はありません。EXAM と MUSIC のどちらにも「トレーニング」のモードがあり、まだ十分にコードが弾けない場合でも自分のペースでレッスンできます。いろいろなコードを弾けるようになりたいという人には EXAM が、とりあえず 1 曲が弾きたいという人には MUSIC がお勧めです。

2-3. チュートリアル

まずはチュートリアルからはじめましょう。MENU 画面で［TUTORIAL］をクリックし、メニューの一番上に移動させてから Enter キーを押すか、または［TUTORIAL］の文字をクリックします。
以下の TUTORIAL 画面が表示されます。



チュートリアルでは、「ピアノコード百発百中」でコードを学ぶために必要な基礎知識が勉強できます。チュートリアルは全部で 9 つのレベルから構成されています。各レベルの内容は以下のとおりです。

LEVEL1：このソフトを使う前の基礎知識です。

LEVEL2：コードとは何か勉強します。

LEVEL3：コードネームのルートだけを弾きます。

LEVEL4：ルートと P5th を弾きます。

LEVEL5：最も基本的なコードであるメジャーコードとマイナーコードを弾きます。

LEVEL6：他のコードも弾いてみます。

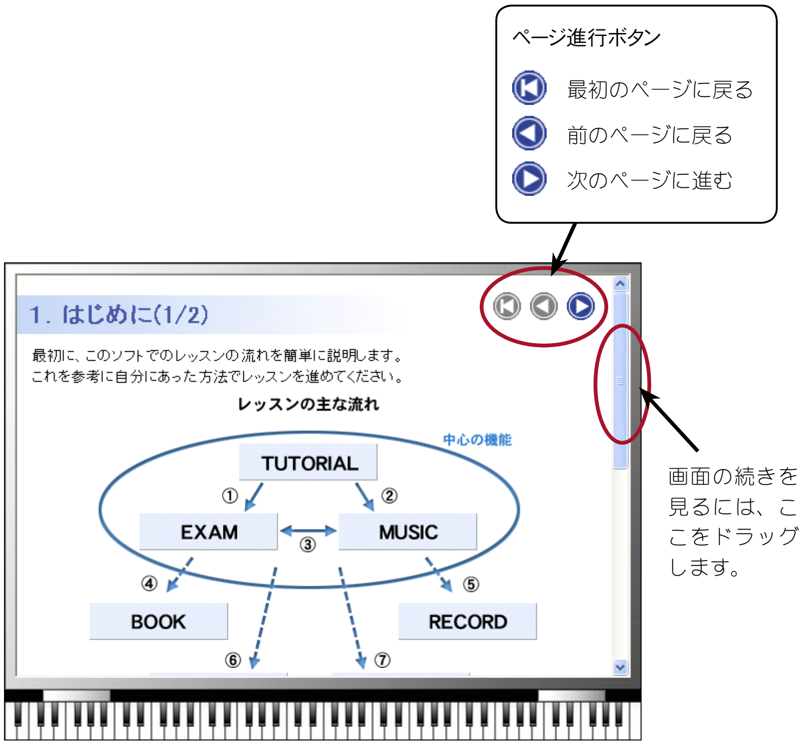
LEVEL7：コードの転回形について勉強します。

LEVEL8：両手でコードを弾いてみます。分数コードについても勉強します。

LEVEL9：黒鍵を含んでいるコードを楽に弾けるようにするための方法を勉強します。

入門編

それでは、LEVEL 1 から順に見ていきましょう。レベルの選択方法や再びこのレベル選択画面に戻る操作の方法は、2-2. メニューの「MENU 画面の操作（各画面面共通の操作）」に説明してあるとおりです。（→ p.24 参照）
Enter キーを押すか [LEVEL　1] をクリックすると、以下の画面が表示されます。



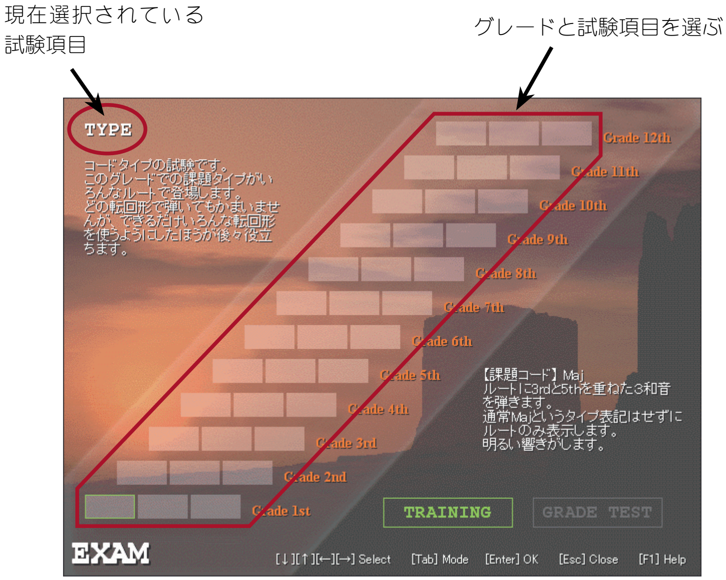
スクロールバーをドラッグしてページの終りまで読んだら、「ページ進行ボタン」で次のページに移動します。（ページ進行ボタンはページの終りにもあります。）
チュートリアルのページの中には、実際に鍵盤楽器を弾いて練習する練習問題のページもあります。練習問題のページでは、正解すると自動的に次のページに進みます。
最後のページまで読み進んだら、ESC キーを押すか、マウスを右クリックするとレベル選択画面に戻ります。
次のレベルを選択して、ひととおりすべてのチュートリアルに目をとおしてください。

2-4. グレード試験でコードをレッスン

EXAM（グレード試験）は、「ピアノコード百発百中」のメインの機能の１つです。
グレード試験は、簡単なメジャートライアドから複雑なテンションコードまで、幅広いコードをいろいろな転回形で弾けるようにするレッスンです。コード進行もいろいろなパターンで出てきますので、実戦的なレッスンになっています。
グレード試験には、「トレーニング」と「グレード試験」の２つのモードがあります。まずはトレーニングで練習して感覚をつかんでから、グレード試験にチャレンジしてみましょう。

● グレードと試験項目を選択

EXAM 画面に入ると、まず以下のようなグレード選択画面が表示されます。この画面でレッスンするグレードと試験項目を選択します。



３つの階段状の枠はグレード別に試験項目を選択するボタンです。選択されたグレードの項目が緑枠で表示され、左上に現在選択されている試験項目が表示されます。

入門編

試験項目には、以下の 3 つがあります。

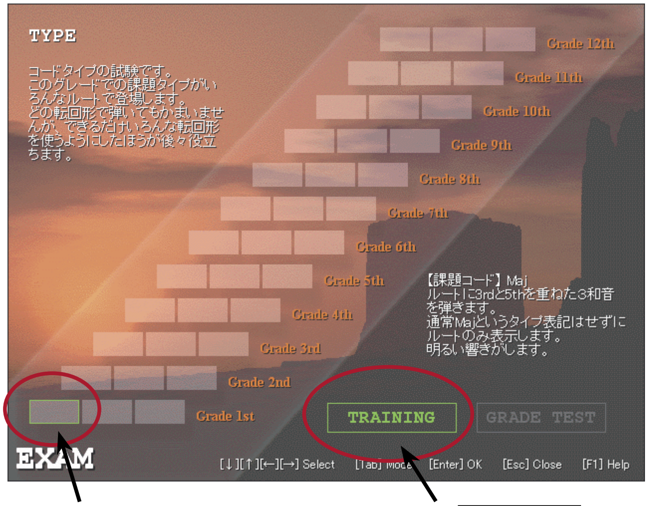
項目	説明
TYPE	コードタイプの試験です。このグレードでの課題タイプがいろんなルートで登場します。どの転回形で弾いてもかまいませんが、できるだけいろんな転回形を使うようにしたほうが後々役立ちます。
INVERSION	コード転回形の試験です。このグレードの課題タイプの転回形が全て登場します。いろんな転回形を弾けるようになると、コード進行が簡単にマスターできるようになります。
PROGRESSION	コード進行の試験です。このグレード以前に登場したタイプがリズムにのって登場します。できるだけ指定された転回形を使って、スムーズに進行させるようにしましょう。

グレードは、全部で 16 ありますが、最後の 4 つは SETUP の「ユーザーのプロパティ」でテンションコードを含めた場合だけ表示されます（※）。

グレード	課題タイプ	
Grade 1st	Maj	初級（基本コード）
Grade 2nd	m	
Grade 3rd	7	
Grade 4th	M7	
Grade 5th	m7	
Grade 6th	m7-5, dim	
Grade 7th	6, m6	中級
Grade 8th	sus4, 7sus4	
Grade 9th	aug, -5, m-5	
Grade 10th	add9, madd9	
Grade 11th	mM7, M7-5, mM7-5	
Grade 12th	7-5, 7+5	
Grade 13th ※	9, M9	上級（テンションコード）
Grade 14th ※	m9, mM9	
Grade 15th ※	9-5, 9+5	
Grade 16th ※	69, m69, 7-9, 7+9	

● トレーニングとグレード試験

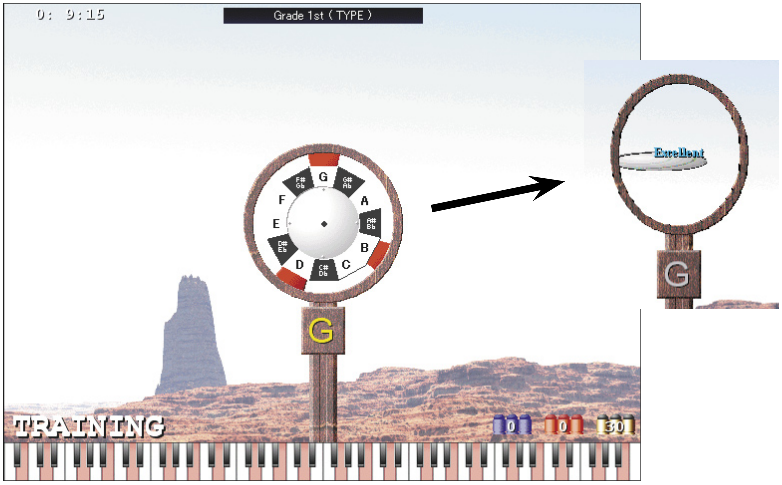
それでは、早速レッスンしてみましょう。
まずは、Grade 1st の一番左のボタン（TYPE）をクリックしてから TRAINING ボタンをクリックしてください。



①Grade 1st の TYPE ボタンをクリック　②TRAINING ボタンをクリック

TYPE と INVERSION ではコード盤が表示されたら、なるべく速くコードを弾きます。速さを競う試験です。

画面中央に READY と表示された後、コード盤が左から出てきます。
コード盤に表示されているコードを鍵盤楽器で弾いてください。
正解するとコード盤が撃ち抜かれます。



画面下に表示される鍵盤には自分の弾いた鍵が黒く表示されます。トレーニングモードではガイドとして弾かなければならない鍵が赤く表示されます。TYPE の場合は、どの転回形で弾いてもかまいませんので全てのオクターブで表示されます。

トレーニングの場合は、正解するまで次のコードへは進みません。
画面右下に表示されている金色の弾の上の数だけ正解するとトレーニングが終了します。

今度は、グレード試験に挑戦してみましょう。ESC キーを押すかマウスを右クリックしてグレード選択画面に戻ってください。
グレード選択画面で、GRADE TEST ボタンをクリックします。

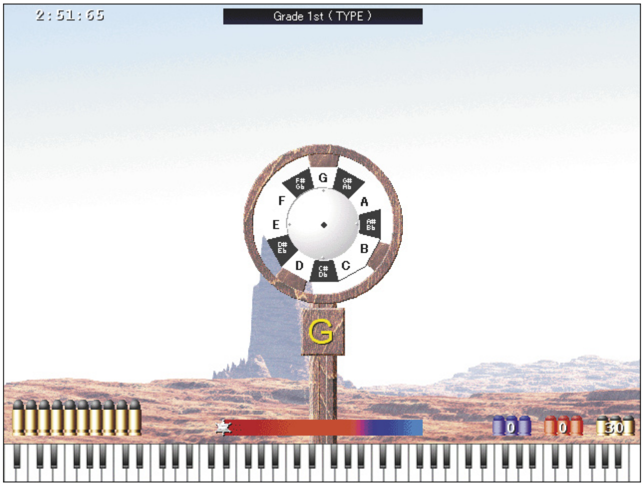


同じようにコード盤が左から出てきますが、今度はある時間内に弾かないと次の音に移ってしまいます。また、鍵を押すたびに画面左下の弾がどんどん減っていきますので、間違った鍵を押しているとそのうち弾がなくなってしまいコード盤を撃ち抜くことができなくなってしまいます。なるべく間違えないように注意して弾きましょう。制限時間内にできるだけ多く正解するほど高得点となります。

制限時間は、画面の左上に表示されます。

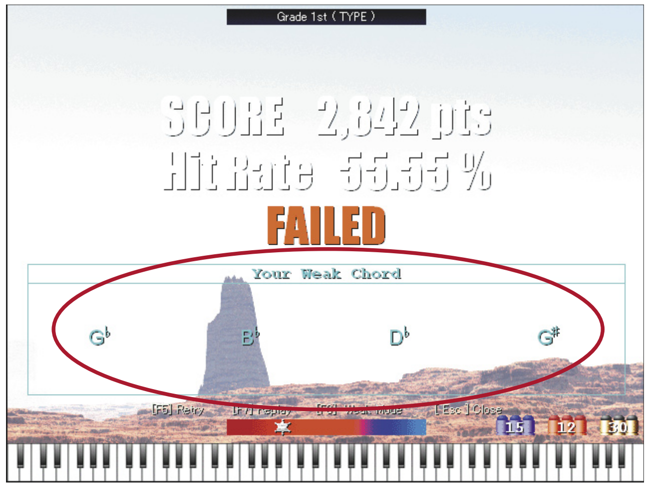
画面右下に Hit 数と Miss 数が表示されます。青い弾の数字が今まで正解したコードの数で、赤い弾の数字が不正解のコードの数を示します。一番右はこのグレード試験（トレーニング）で正解しなければならないコードの数を示しています。

画面中央下のメーターは現在の成績を示しています。



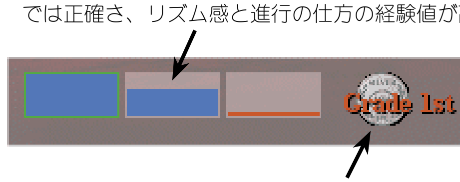
グレード試験や弾き語り（次節参照）の成績は、RECORD 画面で確認することができます。詳細は、成績の見方（p.38）を参照してください。

制限時間になるか、このグレード試験で正解しなければならないコードの数だけ正解すると成績が表示されます。画面の中央下に表示されている Your Weak Chord で自分の苦手なコードを知ることができます。



グレードと試験項目を選択するボタンはグレード別、試験項目別の経験値も表示しています。経験値は EXAM や MUSIC で試験項目別にたくさんの種類のコードを経験するほど高くなります（トレーニングなどでたくさん種類を経験しても経験値は変わりません）。経験値が高くなるほど赤く塗りつぶされます。また、バッジが 3 つになるとそのグレードの試験項目は合格になり、青い色に変わります。合格した試験項目が 1 つの場合は銅メダルが、2 つの場合は銀メダルが、3 つ全てに合格すると金メダルが表示されます。

TYPE や INVERSION では、正確さとスピードまたはリズム、PROGRESSION では正確さ、リズム感と進行の仕方の経験値が高いほど塗りつぶされる



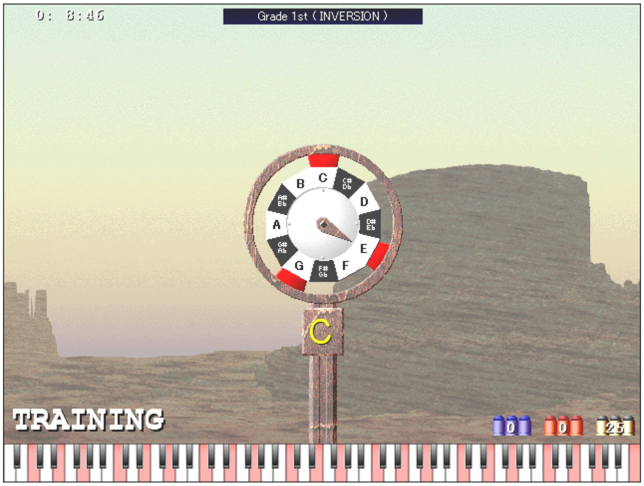
この例では、TYPE と INVERSION の 2 つに合格しているので銀メダル



各試験項目で「SUCCEEDED」を出すごとに画面上のバッジが増えます（3 つまで）



INVERSION と PROGRESSION についても、レッスンしてみましょう。
グレード選択画面に戻り、同じ Grade 1st の INVERSION ボタン（3 つのボタンの真ん中）を押してから TRAINING ボタンを押します。



コード盤の見方については、コード盤の見方（p.37）を参照してください。

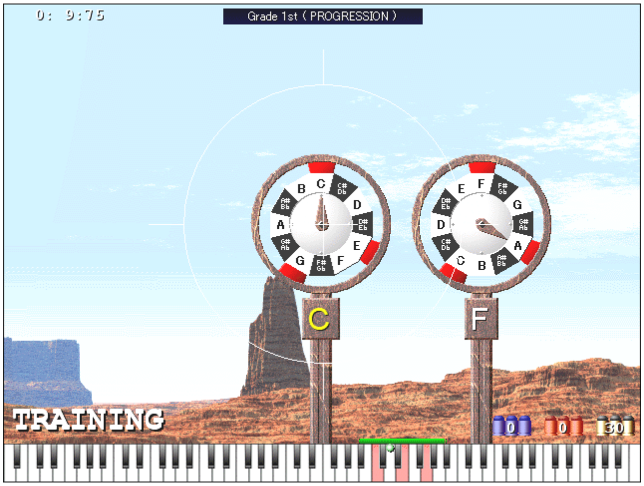
今度は、コード盤に時計の針のようなものが表示されています。INVERSION は転回形のレッスンなので例えば上の例の場合、今度は同じ C のコードでも C、E、G とは弾かずに時計の針がさしている E の音を最低音にして E、G、C と重ねて弾きます。

転回形を間違えて弾いた場合、コード盤は撃ち抜かれますが点数は低くなります。

トレーニングが終了したら、グレード選択画面に戻ってグレード試験にもトライしてみましょう。
正しい転回形で弾けていないと、コード盤を撃ち抜くことはできますが点数が低いため合格できません。

> コード盤が撃ち抜かれたとき、コード盤の中央に評価結果が表示されます。また、SETUP で「サウンドを使用する」にチェックが入っていると評価を音声でも知らせてくれます。評価は良い順に、「Perfect、Excellent、Fine、VeryGood、Good、Fair（音声は発音されません）、Bad、Oh!Bad」です。

最後に、PROGRESSION のレッスンをしてみましょう。
PROGRESSION はコード進行のレッスンです。
グレード選択画面に戻って、３つ目の PROGRESSION ボタンを押してから TRAINING ボタンを押します。



PROGRESSION はコード盤が照準の中央にきたときにコードを弾きます。リズムの正確さを競う試験です。

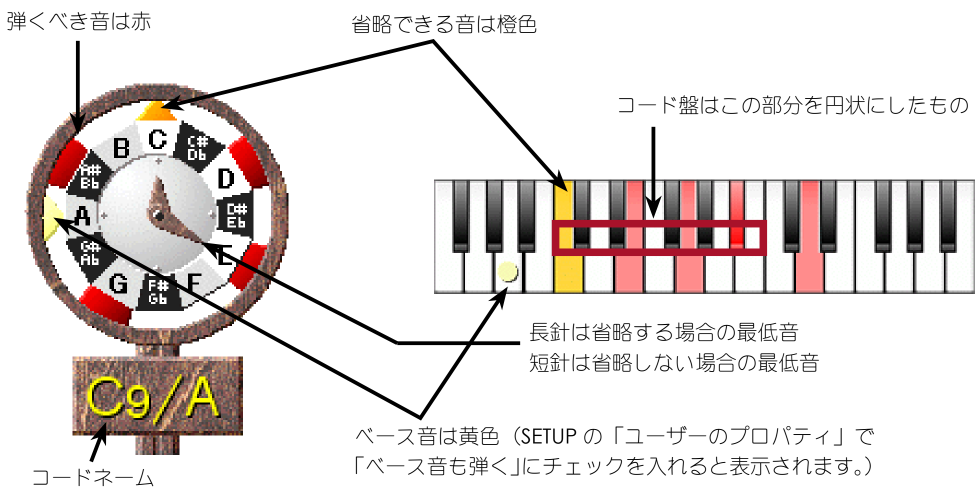
いろいろなコードを満遍なく弾けるようにするために、登場するコード進行の中には実際には殆ど使われないものも出てきます。

PROGRESSION では、画面の真ん中に照準が表示されています。右から流れてくるコード盤が照準の中央にきたときにコードを弾きます。（コード盤のコードネームが黄色にならないうちはコードを弾いても射抜くことはできません。）一連のコードはよくあるコード進行の順になっています。指示された転回形で弾けば、それほど手を移動しなくても一連のコード進行が弾けることがわかるでしょう。

PROGRESSION についても、グレード試験にトライしてみてください。

> PROGRESSION における鍵盤の上端に表示される小さな緑色の丸印は、登場するコードの中心の位置を示します。この位置に近い転回形で弾くとより高得点になります。（同じ転回形でもオクターブ上や下で弾くと点数が低くなります。）コードの中心の位置を変える場合は、READY が表示されている間か成績が表示されている間に Ctrl キーを押しながら鍵盤の変更したい位置をマウスでクリックします。コードの中心は出題されるコード進行によって変わりますが、変わる範囲は鍵盤上端の緑色のバーで示されます。

コード盤の見方



コード盤は 1 オクターブの鍵盤をぐるっと右回りの円状に並べたものです。外枠と円状の白黒鍵の間の的が弾かなければならない鍵を示しています。トレーニングモードではガイドとして次のような表示があります。

- 赤い四角い的は弾かなければならない鍵を示しています。
- 橙色の三角の的は省略してもよい鍵を示します。
- 黄色の三角の的はベース音を示しています。

円盤の中央には時計の針のようなものが表示されていますが、これは転回形でどの音を最低音にするか示しています。コードには省略できる音がありますが（BOOK の PRACTICAL 参照）、短針は省略しない場合の最低音、長針は省略する場合の最低音を示します。TYPE の場合はどの転回形で弾いてもかまわないので、針は表示されません。省略できる音は、SETUP の「ユーザーのプロパティ」の設定により以下のように変わります。

- ナインス系（♭9、9、♯9）の音が加わったコードは、ルートの音が省略できます。
- 「ベース音も弾く」がチェックされているときは、ベース音がコードの構成音と重なった場合はその構成音が省略できます。
- 「完全５度（P5th）を省略する」がチェックされているときは、４和音以上のコードは完全５度（P5th）の音が省略できます。

[F11] キーで針の表示／非表示の切り替えができます。

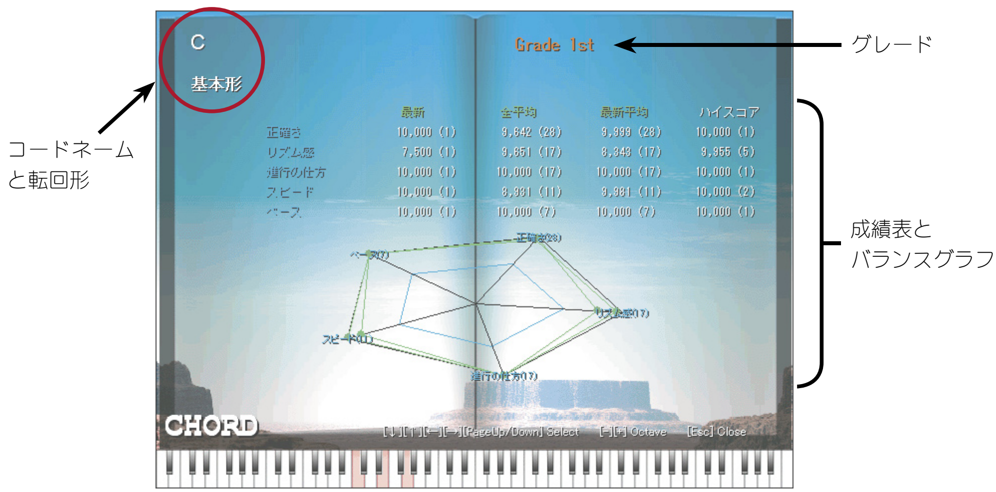
[F9] キーでコード盤の天辺をコードのルートにするか、C 固定にするか切り替えができます。コードのルートにした場合、コード盤はルートが必ず一番上に表示されますからルートが異なっていてもタイプが同じならばコードの的の位置は同じになります。

[F12] キーではコード盤の音名表示の切り替えができます。[F12] キーを押す毎に、「全て表示→白鍵のみ表示→表示しない」とかわります。

また、コード盤の支柱にはコードネームが表示されます。

成績の見方

グレード試験や弾き語りの成績は、RECORD 画面で閲覧することができます。
RECORD 画面には、CHORD、EXAM、MUSIC、BATTLE、GAME の 5 つの項目がありますが、ここでは、CHORD について説明します。
CHORD を選択しクリックすると、以下のような成績表が表示されます。
この成績表は、コードのルート、タイプ、転回形ごとの習得度を示しています。



成績表の各項目は以下の意味です。

最新	最新の得点。
全平均	今までの得点の平均。
最新平均	最新と全平均の平均。
ハイスコア	今までの最高得点。
正確さ	どれだけミスタッチしないで弾けたかを示します。
リズム感	MUSIC や PROGRESSION でどれだけ照準に合わせて弾けたか(リズムにのれて弾けたか)を示します。
進行の仕方	お手本にどれだけ近い転回形や音域で弾けたかを示します。
スピード	TYPE や INVERSION でどれだけ速く弾けたかを示します。
ベース	ベース音を含んだコードで弾けたかを示します。

※カッコは回数を示します。

コードのルート、タイプ、転回形を変更するには、以下のキーを使います。
ルートを変更するには、← → キーを使います。
タイプを変更するには、↑ ↓ キーを使います。
転回形を変更するには、Page Up Page Down キーを使います。

5 角形のグラフは、各項目のバランスを表示しています。青が合格ライン、濃い緑が全平均、緑が最新平均を示しています。

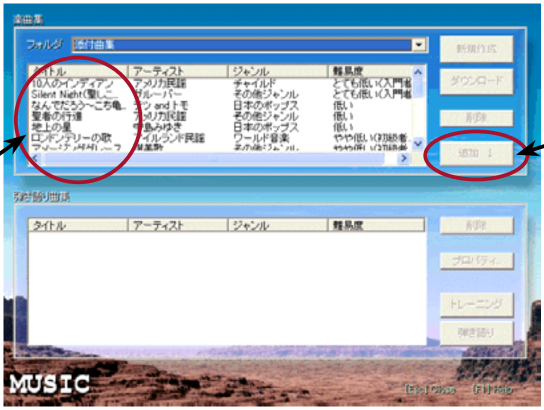
2-5. 弾き語りに挑戦!

MUSIC（弾き語り）は、「ピアノコード百発百中」のもう１つの主要な機能です。EXAM（グレード試験）は、いろいろなコードをいろいろな転回形で弾けるようになることが目的でしたが、弾き語りではあなたのお気に入りの曲のコード進行で練習することができます。
「ピアノコード百発百中」の弾き語りでは、あらかじめインストールされている添付曲の中から選んで弾き語りのレッスンをすることもできますし、歌本などを見ながら新規に曲を作成することもできます。また、ダウンロード機能で、KAWAI のサーバーから曲をダウンロードすることもできます。
まずは、添付曲の中から 1 曲選んで、レッスンしてみましょう。

● 添付曲の中から選んで弾き語り

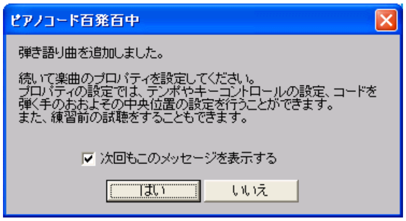
EXAM でレッスンをしていた場合は、ESC キーまたは右クリックで一度 MENU 画面まで戻ってから、MUSIC をクリックします。

MENU 画面で［MUSIC］をクリックし、メニューの一番上に移動させてから Enter キーを押すか、または［MUSIC］の文字をクリックします。
以下の MUSIC 画面が表示されます。



「楽曲集」グループボックスの［フォルダ］が「添付曲集」になっているのを確認して、その下のリストボックスからお好きな曲を 1 曲選んで、そのタイトルをクリックしてください。追加 ↓ ボタンが有効になりますので、クリックしてください。次のダイアログボックスが表示されます。

次回からこのようなメッセージを表示しないようにするには、「次回もこのメッセージを表示する」のチェックをはずします。



入門編

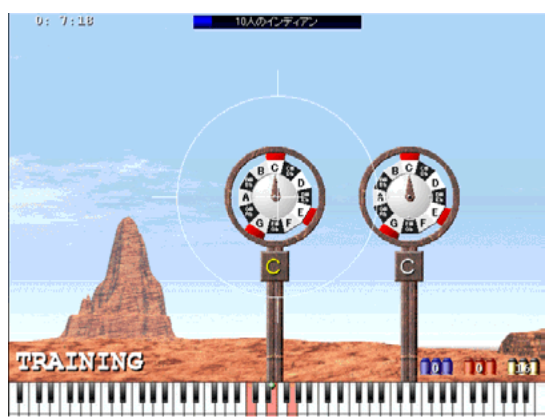
はい をクリックします。以下の曲のプロパティダイアログボックスが表示されます。



黒い枠内に表示されているコードは、この曲に登場するコードです。

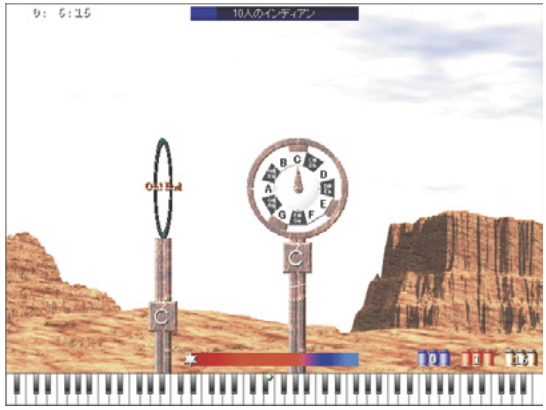
このダイアログボックスで伴奏の音量、テンポ、キーと手の中心位置等を変更できます。通常はこのまま OK をクリックします。
すると、MUSIC 画面の「弾き語り曲集」のリストボックスに選んだ曲が追加されます。
これで、この曲がトレーニング、または弾き語りできるようになりました。
ここでは、トレーニング をクリックしてみてください。

曲のプロパティダイアログボックスは、MUSIC 画面の プロパティ... ボタンをクリックして開くこともできます。弾き語りをしてみて曲のテンポが速すぎると感じたときは、このダイアログボックスを開いて、テンポを遅くするとよいでしょう。



READY と表示された後、右からコード盤が流れてきます。トレーニングモードでは、正しく弾くまで次のコードに進みませんので、あわてず音をよく確認してから鍵盤を押しましょう。とはいっても、正しく弾くまで、バックのリズムやメロディーは止まってしまいますので、伴奏が止まらないよう、なるべく早く弾けるように練習します。
曲の終りまでいったら、F5 キーを押してみてください。もう一度最初からレッスンできます。
うまく弾けるようになったら、ESC キーを押すか、マウスを右クリックしてもう一度 MUSIC 画面に戻り、今度は 弾き語り ボタンを押します。

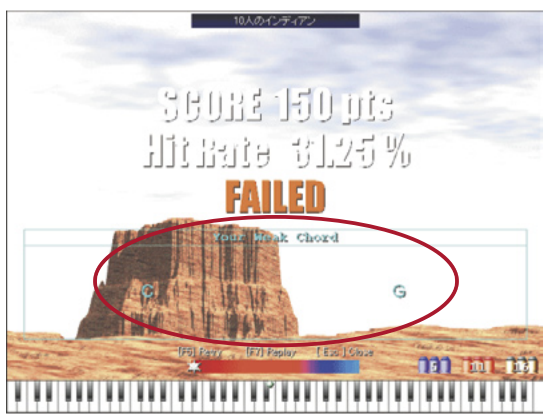
ショートカットキー一覧は、p.56-58 にあります。



鍵盤の上端に表示される小さな緑色の丸印は、登場するコードの中心の位置を示します。この位置に近い転回形で弾くとより高得点になります。コードの中心の位置は、曲のプロパティダイアログボックスで設定できます。

今度は、コード盤は画面中央で止まらずに、どんどん進んでいってしまいます。しかも画面中央の照準から外に出てしまうと、正しくそのコードを弾いても撃ち落すことができなくなってしまいます。
うまく弾けない場合は、もう一度「トレーニング」からやり直しましょう。
最後まで弾き終わると、成績が表示されます。

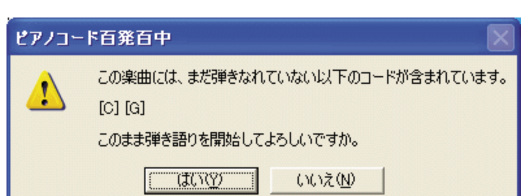
弾き語りの楽曲別の成績の履歴は RECORD 画面の MUSIC で閲覧できます。



画面の中央下に表示されている Your Weak Chord で自分の苦手なコードを知ることができます。

このメッセージを出さないようにするには、SETUP の「ユーザーのプロパティ」で「弾き語りの前にグレード警告を出す」のチェックをはずします。

曲を選んで 弾き語り ボタンを押したとき、以下のようなメッセージボックスが表示されることがあります。

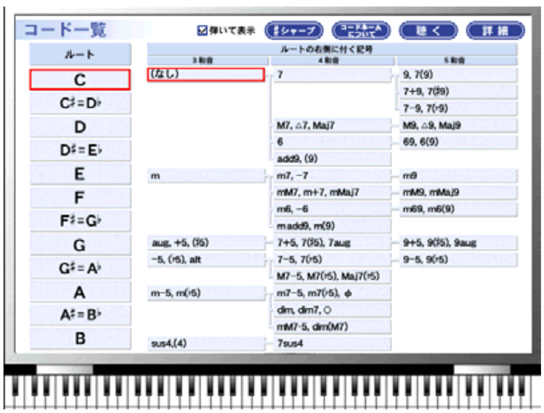


これは選んだ曲に含まれているコードでまだ十分弾きなれていないコードがあることを示しています。このまま弾き語りを開始する場合は、はい(Y) をクリックしてください。

入門編

コードブック

楽譜や歌本を見ていると、押さえ方のわからないコードが出てきます。また、同じタイプのコードであっても楽譜によっては異なる表記の仕方がしてある場合があります。
コードブックを使えば、これらの不明なコードについて調べることができます。
コードブックを表示するには、MENU 画面で BOOK を選択しクリックしてから、CHORD NAME をクリックします。
以下のコード一覧が表示されます。



ルートとタイプを選んでから 詳細 ボタンをクリックします。



コードの読み方、構成音を確認できます。
聴く ボタンを押せば、演奏を聴くこともできます。
一覧に戻るには、一覧 ボタンをクリックします。

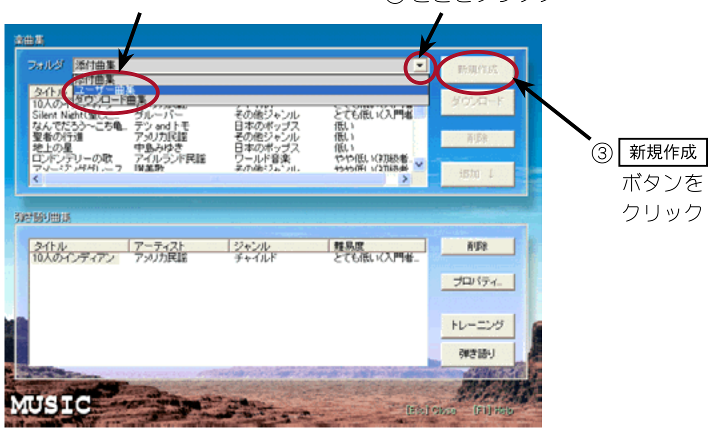
※一覧、および、詳細画面の「弾いて表示」チェックボックスにチェックが入っていると、鍵盤楽器で弾いたコードを検出してそのルートとタイプのコードが自動的に選択されます。（ただし、検出できないコードの場合は、選択が変わりません）

BOOK の PRACTICAL では、コードの応用的な内容について学習できます。画面の操作は TUTORIAL と同じです。

● 新規にデータを追加するには

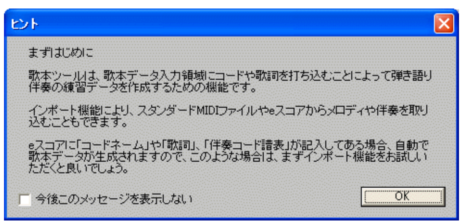
もう一度 MUSIC 画面を表示してください。弾き語り用の新規データを作成するには、[フォルダ] の右の下向き三角ボタンを押してコンボボックスを開き、2 番目の「ユーザー曲集」を選択します。すると、右上の 新規作成 ボタンが有効になりますので、これをクリックしてください。

②「ユーザー曲集」をクリック　①ここをクリック

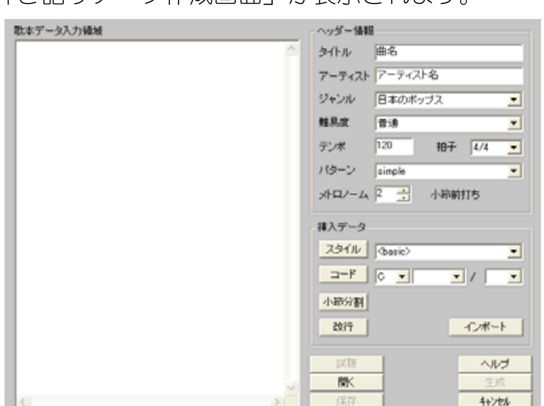


メッセージボックスが表示されますので、よく読んで OK をクリックします。

次回からこのようなメッセージを表示しないようにするには、「今後このメッセージを表示しない」にチェックを入れます。



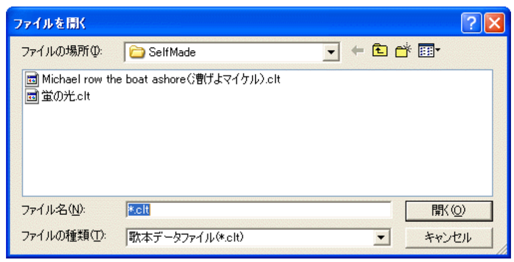
「弾き語りデータ作成画面」が表示されます。



この画面の「歌本データ入力領域」に、歌本などを参照しながらコードと歌詞を入力していきます。書式ルールなどの詳しい説明は、第 3 章 資料編、3-2. 歌本データの書き方（p.53）を参照してくだい。ここでは、入力作業を省略して、すでにインストールされている歌本データのサンプルファイルを読み込んで、弾き語りデータを作成するまでの手順だけを説明します。

スタンダード MIDI ファイル（拡張子 mid）や e スコアファイル（拡張子 sdf）からメロディや伴奏をインポートすることもできます。詳しくはヘルプを参照してください。

「弾き語りデータ作成画面」の [開く] ボタンをクリックしてください。
以下のダイアログボックスが表示されます。



どちらかのファイルを選んで [開く(O)] を押してください。以下のように、「歌本データ入力領域」にコードと歌詞が表示されます。

歌本データファイルから「ヘッダー情報」も読み込まれていることに注目してください。

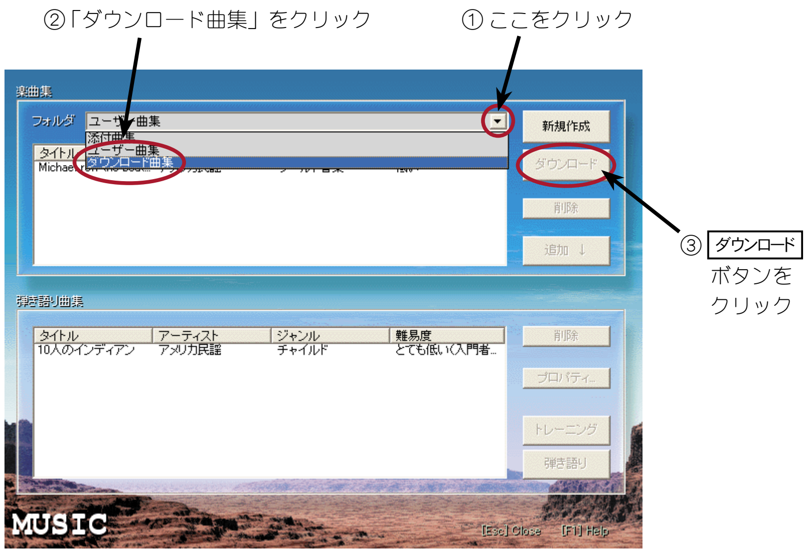


[試聴] ボタンを押せば、この歌本データの演奏を聴くことができます。右側の「ヘッダー情報」や「挿入データ」の使い方に関してはヘルプを参照してください。「ヘッダー情報」の入力、コードや歌詞の入力が完了したら、[生成] ボタンを押します。自動的に MUSIC 画面に戻り、「楽曲集」に作成したデータが追加されます。レッスンするためには、添付曲の場合と同様、[追加 ↓] ボタンを押して、「弾き語り曲集」に追加する必要があります。（→ p.39 参照）

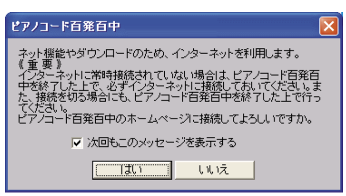
ヘルプを表示するには、[ヘルプ] ボタンを押してください。

● ダウンロードもできます

弾き語り用の曲データは、KAWAI のサーバーからダウンロードすることもできます。ダウンロードするには、［フォルダ］コンボボックスで「ダウンロード曲集」を選択し、ダウンロード ボタンをクリックします。

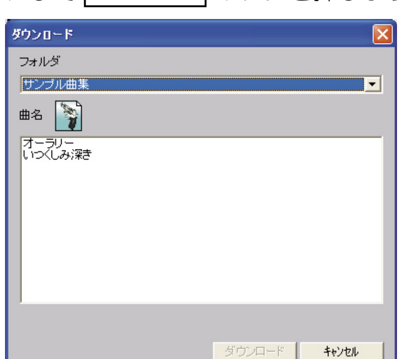


以下のダイアログボックスが表示されます。 はい をクリックします。



次回からこのようなメッセージを表示しないようにするには、「次回もこのメッセージを表示する」のチェックをはずします。

以下のダイアログボックスが表示されます。ダウンロードしたい曲名をクリックして ダウンロード ボタンを押します。



「楽曲集」にダウンロードした曲が追加されます。

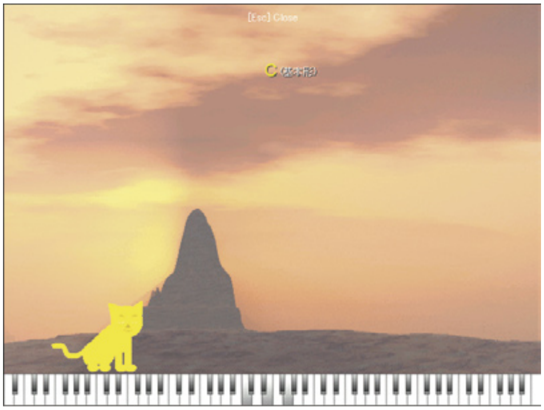
「楽曲集」に追加されたダウンロード曲をレッスンするには、 追加 ↓ ボタンを押して「弾き語り曲集」に追加する必要があります。（→ p.39 参照）

2-6. レッスンに疲れたら休憩モードで

「ピアノコード百発百中」には、コードを使った簡単なゲームも用意してあります。たまには、これらのゲームで息抜きをするのもよいでしょう。
休憩モードには、以下の 5 つの種類があります。
休憩モードに入るには、MENU 画面で REST を選択します。
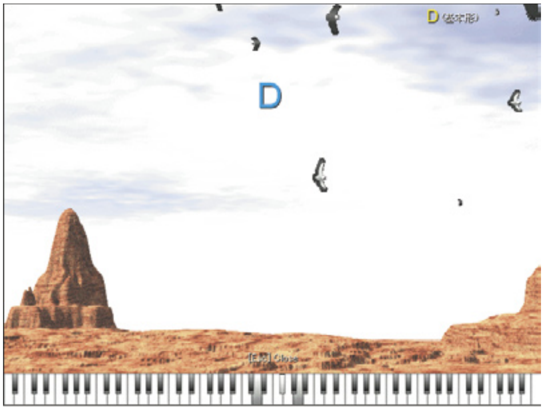
① PET（ペット）

コードを弾くと愛らしいペットが画面内を動き回ります。
EXAM や MUSIC でできるだけ多くのコードの経験値をあげて、グレードに合格しておきましょう。グレードが上がるほど多くのしぐさが見られます。



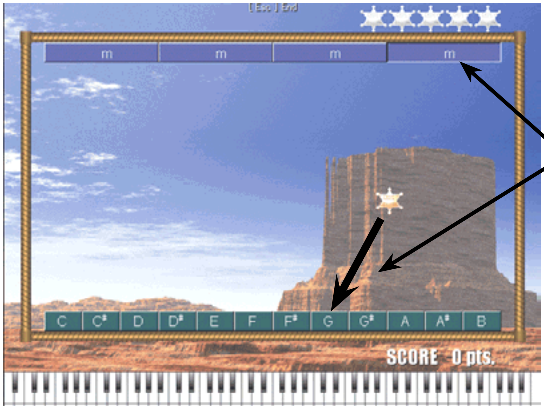
② DICTATION（聴音）

鳴っているコードをよく聴いて、それを弾き当ててみましょう。
正解すると画面に変化が現れます。



③ GAME 1（ゲーム 1）

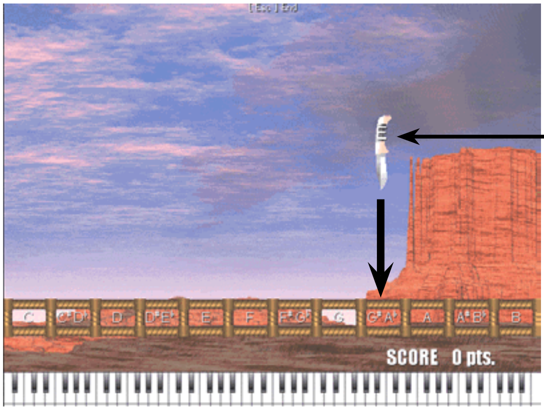
星型のバッジをコードブロックにヒットさせるゲームです。



バッジが当たりそうなルートのこのタイプのコードを弾いてブロックの色を変える。見事当たれば得点になる。

④ GAME 2（ゲーム 2）

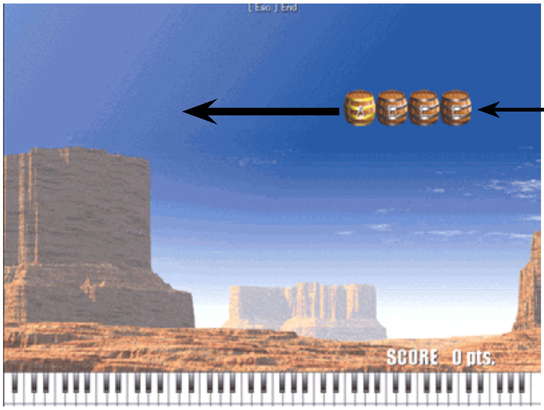
飛んでくるナイフを撃ち落とすゲームです。



ナイフがロープを切る前に、ナイフに書かれたコードを弾いてナイフを撃ち落とす。ただし、ナイフが落ちる先に書かれた音を最低音にした転回形でなければならない。

⑤ GAME 3（ゲーム 3）

樽をできるだけ多く積み上げるゲームです。



樽に書かれたコード進行を弾く。このとき転回形をうまく使って手の移動が少なくなるように弾く。手の移動が少ないほど高く積み上がる。左端についてしまうとゲームオーバー。

2-7. ネットワークを利用した機能

「ピアノコード百発百中」には、インターネットに接続してユーザー同士でセッションしたり、対戦したりするモードもあります。
これらの機能を使うには、MENU 画面で NETWORK を選択します。
「ピアノコード百発百中」専用ホームページもここから表示できます。オンラインユーザー登録はこの専用ホームページで行います。

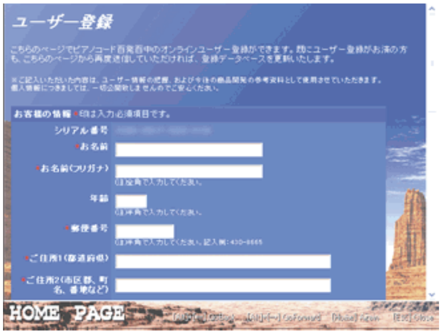
● HOME PAGE（ホームページ）

「ピアノコード百発百中」専用ホームページです。
オンラインユーザー登録と FAQ（よくある質問とその答え）があります。

この「ピアノコード百発百中」専用ホームページの内容は、今後変更される場合があります。



オンラインユーザー登録するには、まず オンライン登録 ボタンを押し、表示される入力フォームに必要事項を入力してから 送信 ボタンを押してください。登録内容の確認画面が表示されますので、間違いがなければ 登録 ボタンを押してください。



NETWORK の BATTLE と SESSION はユーザーサポートの対象外となります。

● BATTLE（バトル）

インターネットや LAN に接続してコード弾きの対戦をします。
画面に表示されたコードを弾いてビンゴを完成させるか、制限時間内により多く弾いたほうが勝者になります。
このモードは 2 人で対戦します。以下に手順を説明します。

1. まず、2 人のどちらがホストになるか決めます。ホストになる側は対戦相手に自分の IP アドレスを教えておきます。

「コマンドプロンプト」（または、「MS-DOS プロンプト」）で「ipconfig」と入力して Enter キーを押すと、自分のパソコンの IP アドレスが表示されます。詳しくは、p.67「自分のパソコンの IP アドレスが分からない」を参照してください。

2. NETWORK のモード選択画面で BATTLE を選択します。
「ネットワーク接続」ダイアログボックスが表示されます。

3. ハンドル名を入力します。ホストになる側は、「ホストになる」を選びます。ホストにならない側は、「参加する」を選び、対戦相手の IP アドレスを入力します。 OK ボタンを押します。

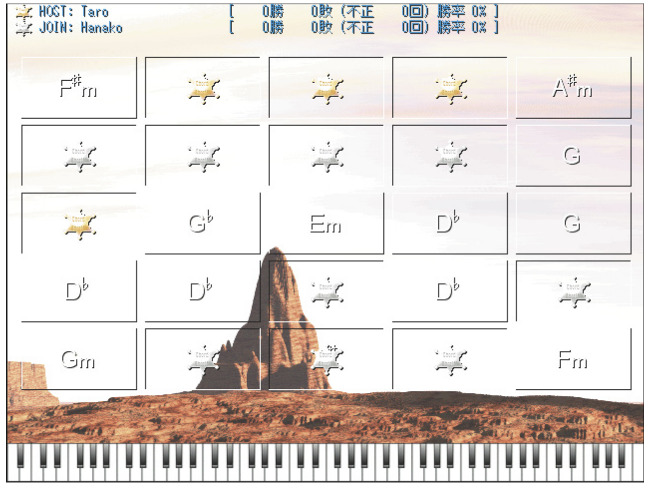
4. ホストの場合は、「Waiting Join」のメッセージが表示されます。対戦相手の接続を待っている状態です。対戦相手の接続が完了するとスタンバイ状態になります（「BATTLE Grade xx Standby START」のメッセージが表示されます）。

バトルで表示されるコードは、EXAM のグレード選択画面で現在選択しているグレードのコードになります。（TYPE や INVERSION といった試験項目は関係ないので 3 つのうちどれを選んでもかまいません。）あなたのグレードの選択と対戦相手のグレードの選択が異なる場合は、グレードの低いほうになります。

5. Enter キーを押してバトルを始めることを対戦相手に知らせます。
画面上部のあなたの項目が赤から青に変わります。
両方が青になるとバトルスタートです。「Grade xx READY」のメッセージが表示された後、コードが書かれたマス目が表示されます。
マス目を見てビンゴになるか、できるだけたくさん表示されているコードを弾きましょう。画面下の鍵盤には、あなたの弾いた鍵が黒く、対戦相手の弾いた鍵が黄色で表示されます。
勝つと画面下に Winner のハンドル名が表示されます。バトル終了です。

バトル中以外はスペースキーを押すとチャットを楽しめます。「チャット」ダイアログボックスにメッセージを入力して「送信」ボタンを押すと画面上に送信した内容が表示されます。

バトルの成績は、RECORD 画面でグレード毎に確認できます。



○注意事項

ネットワーク機能を使うにあたって以下の点にご注意ください。

● あなたと対戦相手の両方にこのソフトが必要です。(このソフトは特定の 1 台のコンピュータに限りインストールして使用することができますので、あなたと対戦相手はそれぞれこのソフトを購入しなければなりません。)

● TCP/IP 対応の LAN かインターネットにコンピュータが接続されていなければなりません。

● LAN やインターネットが遅いと動作や反応が遅くなります。

● ネットワーク対戦するにはホストコンピュータの IP アドレスが必要です。(セッションの場合には、参加側のコンピュータの IP アドレスも必要です。)

● IP アドレスは信用のおける方のみに教えるようにしましょう。

● このソフトのネットワーク機能を使用したことで、コンピュータの不正アクセスやユーザー同士のトラブルなど何らかの被害に遭われても当社では一切の保障はいたしません。あらかじめご了承ください。

● SESSION (セッション)

ネットワーク上のほかのユーザーとセッションを体験することができます。あなたがメロディーを、相手が伴奏を弾くなどしてみましょう。
接続の注意事項や接続方法は BATTLE と同じですが、セッションの場合は、前頁の手順 3 で参加側のコンピュータの IP アドレスも入力する必要があります。

LAN やインターネットが遅いと発音が遅くなります。なるべく高速な回線をご使用ください。

セッション中もチャットを楽しめます。

第3 章 資料編

3-1. 添付曲一覧

添付曲は歌本サンプルと合わせて 21 曲あります。

曲名	歌詞	難易度
10 人のインディアン	×	とても低い
蛍の光 ☆	○	とても低い
Silent Night（聖しこの夜）	○	とても低い
Michael row the boat ashore（漕げよマイケル）☆	○	低い
なんでだろう～こち亀バージョン～	○	低い
聖者の行進	×	低い
地上の星	○	低い
ロンドンデリーの歌	×	やや低い
アメージンググレース	×	やや低い
グリーンスリーブス	×	普通
世界に一つだけの花	○	普通
川の流れのように	○	普通
さくら（独唱）	○	やや高い
卒業写真	○	やや高い
大きな古時計	○	やや高い
赤いスイートピー	○	高い
Seasons	○	高い
真夏の果実	○	高い
Someone to watch over me	×	とても高い
Je te veux	×	とても高い
もののけ姫	○	とても高い

※「歌詞」のある曲（○印）では、弾き語り（トレーニング）中の画面に歌詞が表示されます。

※☆印は歌本サンプルです。

3-2. 歌本データの書き方

歌詞を入力しない場合は、先頭行に <nolyric> と記述すれば歌詞行を省くことができます。（→ p.55「最初の行につけるタグ」参照）

歌本データ入力領域の記述には以下の書式ルールを参考にしてください。入力は基本的には２行ずつの組で、最初がコードネーム行、次が歌詞行となります。

歌本データの例（サンプル曲、蛍の光 .clt です。）

```
- | F | C | F | Bb |  ---------------- コードネーム行
蛍の光 | | 窓の雪 | |  -------------- 歌詞行
F | C = = F | Bb = = C | F = = Bb |
文読む月日 | | 重ねつつ | |
F | C = = Bb | F | Bb |
いつしか年も | | 過ぎ（杉）の戸を | |
F | C = = F | Bb = = C | F |
開けてぞ今朝は | |  別れ行く | |
```

コードネーム行の書式

コードネーム行には、スタイル、コードネーム、小節線などを記述します。記号と記号の間には、半角スペースを入れる必要があります。

●スタイル

「<intro>、<basic>、<basic2>、<fill>、<fill2>、<ending>」の 6 種類のタグが記述できます。スタイルを指定するとそのタグ以降は指定したスタイルになります。スタイルを指定しないと全て <basic> で演奏されます。

●コードネーム

コードネームの文字列は､「ルート音」+「タイプ」+「テンション」+「ベース（分数コード）」で記述し、「タイプ」以下は省略できます。コードネーム中にスペースを入れてはいけません。

ルート音名	「A ～ G」までの半角大文字と臨時記号（「#（半角）」または「b（小文字のアルファベット）」）で表記します。
タイプ	※タイプとテンションの組み合わせで次ページのものが使用できます。
テンション	
ベース（分数コード）	「on」または「/」に続けてベース音名を表記します。ベース音名の書式はルート音名に準じます。

※タイプとテンションの組み合わせ
Major、Maj、M、^、 m、minor、min、-、 7、 M7、Maj7、^7、 m7、-7、min7、 m7-5、m7b5、min7b5、min7-5、-7b5、-7-5、$、 dim、dim7、o、o7、@、@7、 6、 m6、min6、-6、 sus4、 7sus4、 aug、(#5)、+5、+、 -5、(b5)、alt、 m-5、mb5、 add9、(9) madd9、m(9) mM7、mMaj7、m^7、m+7、minMaj7、minM7、min^7、-Maj7、-M7、-^7、 M7-5、Maj7b5、M7b5、^7b5、Maj7-5、^7-5、 mM7-5、dimM7、@Maj7、@M7、@^7、 7-5、7b5、 7+5、7#5、7+、aug7、7aug、 9、7(9)、 M9、Maj9、^9、 m9、-9、min9、 mM9、mMaj9、m^9、 9-5、9b5、 9+5、9#5、9aug、 69、 m69、min69、-69、 7-9、7b9、 7+9、7#9、

●小節内でコードを変える
４拍の小節で、２拍ずつコードを変える場合は、「C C7」と続けて記述します。また、４拍目だけコードを変える場合は、「C = = C7」とします。「=」は拍を意味します。

●小節線
「 | 」を記述します。小節の最後には必ず小節線を記述します。ただし、行の最後が小節の最後でない場合は、小節線を記述してはいけません。

●弱起の曲を作るには
弱起の曲は最初の小節に「-」を入力します。この設定をした小節は伴奏パターンが演奏されません。また、インポートする SDF ファイル（e ス

コア楽譜ファイル、拡張子が sdf）の弱起の部分には、必ず休符を入れてください。

●その他
コードネーム行には、他に次の 3 つのタグを記述することもできます。ただし、小節の先頭に記述しなければなりません。

タグ	説明
<tempo 数値 >	伴奏のテンポを「数値」に設定します。設定できる数値は 30 ～ 200 です。
<pattern パターン名 >	伴奏のパターンを「パターン名」に設定します。歌本ダイアログボックスの「パターン」リストボックスにあるパターン名が指定できます。
<beat 拍子 >	曲の途中で拍子が変わる場合に設定します。歌本ダイアログボックスの「拍子」リストボックスにある拍子が指定できます。

歌詞行の書式

歌詞行もコードネーム行と同じように表示したい文字列を小節線で区切って記述します。文字列には半角や全角のスペースを含んでいてもかまいません。
イントロやエンディングなど歌詞のないところでは空行とします。

最初の行につけるタグ

歌本データを書くには基本的に上記の記述で十分ですが、特別に次のタグを最初の行（1 行目）に記述することもできます。このタグは最初の行以外では無視されます。

タグ	説明
<nolyric>	歌詞を記述しません。したがって記述もコードネーム行だけになります。

資料編

3-3. ショートカットキー

「ピアノコード百発百中」ではマウスクリック以外にパソコンのキーボードや鍵盤楽器による以下のショートカットが使えます。

● パソコンキーボードのショートカット

以下は、各画面共通に使えるショートカットです。

●各画面共通

キー	機能
Enter	選択した項目へ進みます。
Esc	その画面を終了します。
F1	ヘルプを表示します。

以下は、各画面で使えるショートカットです。

● MENU など楕円の選択画面

キー	機能
↓ ↑ ← →	項目を選択します。
Enter	選択した項目へ進みます。
Esc	その画面を終了します。
Alt + F4	「ピアノコード百発百中」を終了します。
F1	ヘルプを表示します。

● LOGIN

キー	機能
Enter	MENU へ進みます。
Alt + F4	「ピアノコード百発百中」を終了します。
F1	ヘルプを表示します。

● HELP

キー	機能
Alt + ←	前のページへ戻ります。
Alt + →	次のページへ進みます。
Home	その画面のヘルプを再表示します。
Esc	ヘルプを終了して、元の画面へ戻ります。

● TUTORIAL と BOOK の PRACTICAL

キー	機能
←	前へ戻ります。
→	次へ進みます。
Esc	その画面を終了して、TUTORIAL や BOOK へ戻ります。

● EXAM

キー	機能
← →	試験項目（TYPE、INVERSION、PROGRESSION）を選択します。
↓ ↑	グレードを選択します。
Tab	モード（グレード試験、トレーニング）を選択します。
Enter	選択した項目へ進みます。
Esc	グレード選択画面を終了して、MENU へ戻ります。
F1	ヘルプを表示します。

●グレード試験（トレーニング）や弾き語り（トレーニング）の画面

キー	機能
F5	グレード試験や弾き語りをもう一度最初からやり直します。
F7	グレード試験や弾き語りの様子を再生します。
F8	弱点コードを練習します。（グレード試験のみ、PROGRESSION を除く）
F9	コード盤の 12 時の位置にコードのルートを表示するか、それとも C に固定するかを切り替えます。
F11	コード盤に時計の針（最低音）を表示するかどうかを切り替えます。
F12	コード盤の鍵盤上の音名表示方法を切り替えます。
Esc	この画面を終了してグレード選択画面や選曲画面へ戻ります。

● RECORD（CHORD）

キー	機能
← →	コードのルートを選択します。
↓ ↑	コードのタイプを選択します。
PageUp PageDown	コードの転回形を選択します。
− +（テンキー）	鍵盤の表示のオクターブを変更します。
Esc	その画面を終了して、成績選択画面へ戻ります。
F1	ヘルプを表示します。

● RECORD（その他）

キー	機能
↓ ↑ ← →	表示する項目を選択します。
Esc	その画面を終了して、成績選択画面へ戻ります。
F1	ヘルプを表示します。

● BATTLE

キー	機能
Space（半角モード）	チャットダイアログボックスを表示します。
Enter	ゲームを開始します。 対戦相手に準備の状態を知らせます。
Esc	バトルを終了して NETWORK へ戻ります。

● SESSION

キー	機能
Space（半角モード）	チャットダイアログボックスを表示します。
Esc	セッションを終了して NETWORK へ戻ります。

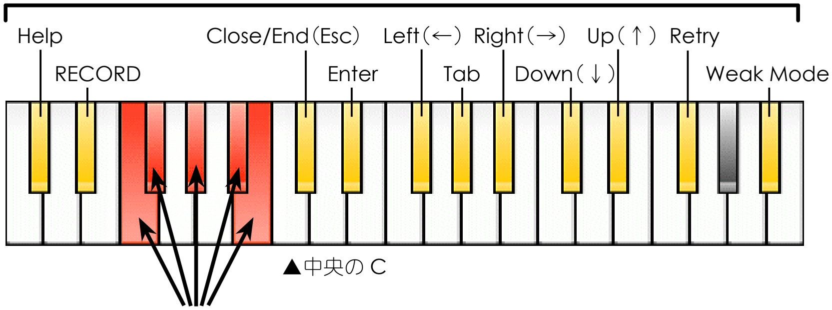
● GAME

キー	機能
F5	最初からゲームをやり直します。
Esc	ゲームを終了して REST へ戻ります。

● 鍵盤楽器でのショートカット

特に頻度の高い操作については、鍵盤楽器の複数の鍵を同時に押すことでも実行できます。まず、以下の①の鍵 5 つを押し、それらを押さえたままで②の機能が割り当てられている鍵のいずれか 1 つを押します。

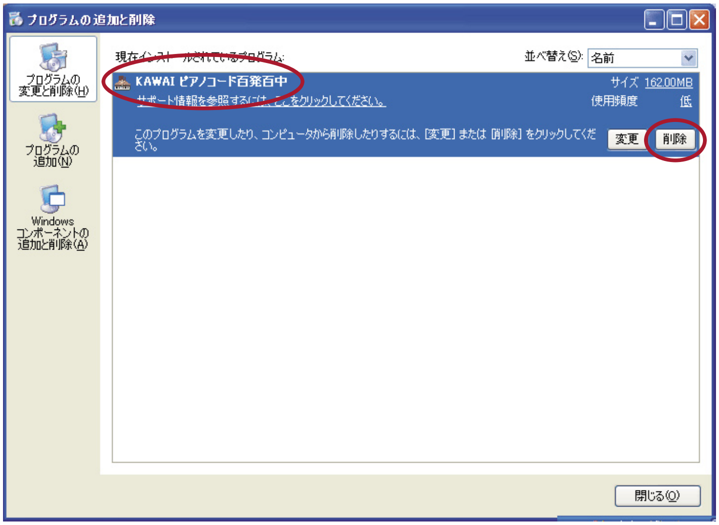
② 次に、これらの機能が割り当てられた黒鍵のいずれか 1 つを押す。



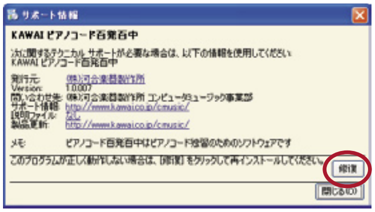
① まず、この 5 つの鍵を同時に押す。

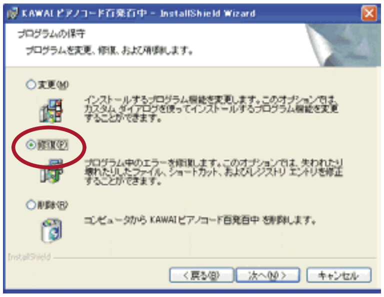
3-4. アンインストール

「ピアノコード百発百中」をお使いのコンピュータからアンインストール（削除）する場合は、Windows のコントロールパネルから「プログラムの追加と削除」（Windows98/Me/2000 の場合は「アプリケーションの追加と削除」）を開きます。次のような画面が表示されますので、「KAWAI ピアノコード百発百中」をクリックして選択し、削除 をクリックしてください。後は、画面の指示に従って操作するとアンインストールできます。



「ピアノコード百発百中」のプログラムファイルが破損して、正常に動作しなくなった場合には、上図画面のサポート情報を表示させるか 変更 ボタンをクリックして表示される、修復 機能を利用します。





3-5. よくある質問とその答え

● インストールに関する質問

シリアル番号がわからない

このユーザーズマニュアルの裏表紙にシールで貼りつけてあります。

シリアル番号を大文字で入力する方法がわからない

Caps Lockをオンにするか、[Shift] キーを押したままタイプして入力します。

● 設定に関する質問

ユーザーを追加したい

SETUP の [追加] で行います。

ユーザーを削除したい

SETUP の [削除] で行います。一旦削除すると、そのユーザーの弾き語り曲集や成績などのデータも削除されてしまい、元に戻せませんのでご注意ください。

ユーザーを切り替えたい

ユーザーの切り替えは、起動した直後の LOGIN で行います。起動後は、SETUP の「ユーザーリスト」で切り替えたいユーザー名を選択します。

MIDI の設定が分からない

MIDI の設定がよく分からない場合は、SETUP の [設定ウィザード...] を使うと簡単に設定できます。

● 表示に関する質問

スクリーンセーバーが起動して画面が乱れた

「ピアノコード百発百中」は画面の解像度を一時的に変更して動作します。スクリーンセーバーが起動してしまうと、画面モードが戻されたりしてその後、画面が正しく表示されなくなることがあります。「ピアノコード百発百中」をお使いのときは、スクリーンセーバーはオフにしてください。

突然画面が小さくなった

「ピアノコード百発百中」と同時に他のアプリケーションを使用していたり、常駐のアプリケーションが動作したりしていると、突然画面が小さくなることがあります。そのようなときは、「ピアノコード百発百中」を一度終了し、もう一度起動しなおしてください。

画面がずれて表示される

タスクバーの位置によってはこの現象が発生することがあります。タスクバーの位置を標準の画面下側に移動させるか、タスクバーのプロパティで「タスクバーを自動的に隠す」にチェックを入れてから起動してください。

MUSIC の選曲画面が画面よりはみ出て表示される

DPI 設定が通常のサイズ（96DPI）以外に設定されているとこのような現象が起こります。以下の手順で DPI 設定を通常のサイズに変更してください。

◆ WindowsXp の場合

1. デスクトップの画面上を右クリックして、「プロパティ」を選択します。
2. 「画面のプロパティ」の [設定] の [詳細設定] を選択します。
3. 「全般」の「DPI 設定」を「通常のサイズ（96DPI）」に設定します。
4. [OK] を押して画面のプロパティを閉じ、OS を再起動します。

◆ WindowsXp 以外の場合

1. デスクトップの画面上を右クリックして、「プロパティ」を選択します。
2. 「画面のプロパティ」の [設定] の [詳細] を選択します。
3. 「全般」の「フォントサイズ」を「小さいフォント」に設定します。
4. [OK] を押して画面のプロパティを閉じ、OS を再起動します。

● 音に関する質問

鍵盤を弾いても音がならない

音がならない原因はいくつか考えられます。まず、SETUP でどのような状況か確認しましょう。

1. SETUP 画面にします。
2. 鍵盤を弾きます。通常ですと、画面上の鍵盤の鍵の色が変わって音が出ます。

◆ 鍵盤の色も変わらないし、音も出ない。

入力の設定ができていないようです。以下の点を確認して、まずは鍵

盤を弾いて色が変わるようにしましょう。

- 鍵盤入力を変えてみる。
- 鍵盤とコンピュータの接続を確認する。
- 鍵盤の設定を確認する。（ご使用の鍵盤楽器の取扱説明書をご覧ください）
- 必要なドライバがインストールされているか確認する。

◆ 鍵盤の色は変わるが、音は出ない。

出力の設定ができていないようです。以下の確認をしましょう。

- タスクバーの音量アイコンをクリックして、音量が最小になっていないか、ミュートされていないか確認する。
- ソフトウェア音源を使用の場合は、音量アイコンをダブルクリックしてボリュームコントロールを開き、SW シンセサイザの音量が最小になっていないか、ミュートされていないか 確認する。
- 楽音出力を変えてみる。
- 外部音源で鳴らす場合は、コンピュータと外部音源の接続を確認する。
- 外部音源の設定を確認する。（ご使用の外部音源の取扱説明書をご覧ください）
- 必要なドライバがインストールされているか確認する。
- 選択した MIDI デバイス（楽音出力）が他のソフト（例えば Media Player）で正常に鳴るかどうか確認する。

鍵盤を弾くと音がダブって聴こえる

電子ピアノを使用して、電子ピアノから自分の弾いた音をならす場合は音がダブって聴こえることがあります。この場合は、SETUP の [詳細] ボタンを押して表示される「MIDI 詳細設定」で、「MIDI 鍵盤楽器で弾いた楽音をフィードバックして出力する」のチェックをはずしてください。

鍵盤を弾くと音がなりっぱなしになる

電子ピアノなど鍵盤楽器の設定によってはこの現象が発生することがあります。お使いの電子ピアノの取扱説明書をご覧になり、「マルチティンバー」の設定にしてください。また、SETUP の [詳細] ボタンを押して表示される「MIDI 詳細設定」で、「お手本のコードを出力する」のチェック を外すと解決することがあります。

弾いた音が遅れて発音する

SETUP の「機器設定」で [楽音出力] にソフトウェア音源が設定されている場合、弾いた音やメトロノームの音などは少し遅れて発音されます。

資料編

この遅れがレッスンの障害となる場合は、その音源は「ピアノコード百発百中」に適しません。別の [楽音出力] を選択するか、新たに音源や電子ピアノなどの鍵盤楽器をお使いになることをおすすめします。

画面の BGM の音が大きすぎる

画面のバックで流れる音楽の音量は、SETUP の「ユーザーのプロパティ」の「効果音と BGM の音量」で設定できます。

銃声などの効果音が大きすぎる

銃声などの効果音を消したい場合は、SETUP の「サウンドを使用する」のチェックをはずします。また SETUP の「ユーザーのプロパティ」の「効果音と BGM の音量」でも設定できます。

BGM と効果音の音量バランスを変えたい

BGM と効果音の音量バランスは Windows 側で設定します。ボリュームコントロールで WAVE と MIDI の音量を調節してください。ボリュームコントロールは、コントロールパネルの「サウンドとオーディオデバイス」を開き、「オーディオ」タブを選択し、「音の再生」の項目の音量ボタンをクリックすると開きます。「サウンドとオーディオデバイス」は Windows のバージョンによっては「サウンドとマルチメディア」や「マルチメディア」となっています。

メトロノームの音がピアノの低音で鳴る

弾き語りの始めにテンポをカウントするメトロノームがなりますが、この音は楽音出力（MIDI 出力デバイス）に設定されたデバイスから出力されるリズム音です。楽音出力をパソコンの MIDI 音源などにしている場合は問題ありません。しかし、マルチティンバーモードに対応していない電子ピアノや、複数チャンネルの受信ができない電子ピアノ、あるいはこれらに対応しているが正しく設定されていない電子ピアノでは、メトロノームの音がピアノの低音で鳴ることがあります。そのような場合は、お使いの電子ピアノの取扱説明書をご覧になり、10 チャンネルでリズム音色を受信できるように設定してください。お使いの電子ピアノがこの機能に対応していない場合は、残念ながら回避することはできません。楽音出力（MIDI 出力デバイス）をパソコンの MIDI 音源などに設定してお使いいただければメトロノームは正しい音色で鳴ります。

● EXAM に関する質問

いくらトレーニングしても RECORD に成績が残らない、経験値が上がらない

EXAM のグレード試験と、MUSIC の弾き語りをした結果が、RECORD に成績として残ります。EXAM のトレーニングや MUSIC のトレーニングはトレーニングするだけで、成績には残りません。

テンションコードを練習したい

テンションコードを練習したい場合は、SETUP の「ユーザーのプロパティ」で「EXAM にテンションコードを含める」にチェックを入れます。

分数コードを練習したい

分数コードを練習したい場合は、SETUP の「ユーザーのプロパティ」で「EXAM で分数コードを出題する」にチェックを入れます。分数コードは Grade 3rd から登場します。

「ピアノコード百発百中」で練習できるコードは?

「ピアノコード百発百中」で練習できるコードは、CHORD NAME のコード一覧に表示されているタイプのコードだけです。

INVERSION で間違った転回形を弾いても的が射抜けてしまう

的は射抜けますが、点数が低いので間違った転回形ばかり弾いていると合格できません。

鍵盤で赤く光っている音をすべて弾いたが、まだコード盤が射抜けない

SETUP の「ユーザーのプロパティ」で「ベース音も弾く」にチェックが入っている場合は、ベースの音も弾く必要があります。ベースの音は EXAM や MUSIC のトレーニング中、鍵盤上に黄色い丸印で表示されますが、鍵盤数が少ないと黄色い丸印が鍵盤の音域からはずれてしまい表示されないことがあります。解決方法は、以下の **「ベース音も弾く」にチェックを入れてもベース音を示す黄色い丸印が鍵盤に表示されない** をご覧ください。

「ベース音も弾く」にチェックを入れてもベース音を示す黄色い丸印が鍵盤に表示されない

ご使用の鍵盤によってはコードの中央が低音部に偏ってしまって、ベース音を示す黄色い丸印が表示されないことがあります。このような場合は、試験が始まる前の READY の間か試験が終わって成績が表示されているときに Ctrl キーを押しながら画面下に表示されている鍵盤の変更したい位置をマウスでクリックして、ベース音を示す黄色い丸印が表示

されるようにコードの中央を変更してください。また 37 鍵など鍵数の少ない鍵盤をご使用の場合は、より多い鍵数の鍵盤タイプに設定すると表示できます。

コードで省略できる音は?

SETUP の「ユーザーのプロパティ」の設定によって以下の音が省略できるようになります。省略できる音は橙色の的や鍵で表示されます(トレーニングの場合)。

- ナインス系（♭9、9、♯9）の音が加わったコードは、ルートの音が省略できます。
- 「ベース音も弾く」がチェックされているときは、ベース音がコードの構成音と重なった場合はその構成音が省略できます。
- 「完全５度（P5th）を省略する」がチェックされているときは、４和音以上のコードは完全５度（P5th）の音が省略できます。

● MUSIC に関する質問

楽曲集に曲を追加したが弾き語りできない

MUSIC で弾き語りやトレーニングをするには、楽曲集で曲を選ぶだけではなく、弾き語り曲集に追加しなければなりません。詳しくは、2-5. 弾き語りに挑戦！（p.39）をご覧ください。

曲を削除してしまったが元に戻せないか?

基本的には、削除してしまった曲は元に戻せません。

◆ 楽曲集の曲を削除

楽曲集の曲は全てのユーザーに共通のため、一旦曲を削除してしまうと他のユーザーも使えなくなってしまいます。ただし、弾き語り曲集に同じ曲が残っている場合は、そのユーザーに限って続けて使うことができます。

◆ 弾き語り曲集の曲を削除

弾き語り曲集の曲を削除すると、その曲の成績データも一緒に削除されてしまいます。ただし、楽曲集に同じ曲が残っている場合は、もう一度弾き語り曲集に曲を追加して使うことができます。このとき、成績データはまったく新しいものになります。

曲を弾く前に表示されるメッセージがうっとうしい

選んだ楽曲の中に EXAM で合格していないコードが含まれていると、メッセージが表示されます。このメッセージを出さないようにするには、SETUP の「ユーザーのプロパティ」で「弾き語りの前にグレード警告を

資料編

出す」のチェックをはずします。

自分で曲を作りたい

「ピアノコード百発百中」では自分の好きな曲でレッスンするために、歌本データ作成機能を使って簡単にデータを作ることができます。歌本データ作成機能では、歌詞とコードをテキストで入力したり、音楽データの標準フォーマットである SMF ファイル（拡張子が mid）をインポートしたり、弊社の「音楽帳」や「スコアメーカー」の SDF ファイル（eスコア楽譜ファイル、拡張子が sdf）をインポートしたりしてデータを作成します。

● NETWORK に関する質問

ネットワークでバトル（セッション）をしたいが、相手には何が必要?

ネットワークでバトルやセッションをするには、相手にも「ピアノコード百発百中」と TCP/IP 対応の LAN かインターネットに接続されたコンピュータが必要です。詳しくは、p.50 の ○注意事項 をご覧ください。

ネットワークに接続できない

ネットワークに接続できない原因はいくつか考えられます。以下の点を確認してください。

- IP アドレスが正しいか確認する。
- ネットワークカードやケーブルの接続を確認する。
- Internet Explorer でホームページが表示できるか確認する。

WindowsXP の場合、バトルやセッションで対戦相手と接続できないことがあります。これは、OS に付属しているファイアウォール機能が働いているためで、「ピアノコード百発百中」でバトルやセッションをするためには一時的にこの設定をオフにする必要があります。ファイアウォールをオフにするには、まずコントロールパネルの「ネットワーク接続」を開き、ご使用の接続アイコンを右クリックし「プロパティ」を開きます。「詳細設定」タブを開いてその中の「インターネットからのこのコンピュータへのアクセスを制限したり防いだりして、コンピュータとネットワークを保護する」のチェックをはずします。

はずしたままにしておくとお使いのパソコンのセキュリティが低下しますので、バトルやセッションを行った後は、また元の設定に戻すようにしてください。その他のファイアウォールソフトなどをインストールされている場合も同様の現象が発生することがありますので、その場合も同じように一時的にファイアウォールをオフにしてお使いください。

ホストコンピュータの IP アドレスが分からない

ネットワークのバトルやセッションでホストにならない場合は、事前に相手（ホストコンピュータ）の IP アドレスを聞いておいてください。また、セッションの場合は、自分のパソコンの IP アドレスも入力する必要があります。

自分のパソコンの IP アドレスが分からない

「コマンドプロンプト」（または､「MS-DOS プロンプト」）で「ipconfig」と入力して Enter キーを押すと、自分のパソコンの IP アドレスが表示されます。IP アドレスの確認は、必ずインターネットまたは LAN に接続した状態で行ってください。

インターネット接続の場合は、設定する IP アドレスはグローバルアドレスである必要があります。インターネット接続にブロードバンドルーターなどをご利用の場合には、パソコンに割り当てられている IP アドレスは通常プライベートアドレスのため、その場合にはブロードバンドルーターなどへの特別な設定が必要となります。詳しくはブロードバンドルーターなどの機器の取扱説明書をご覧ください。

プライベートアドレス

10.0.0.0 ～ 10.255.255.255

172.16.0.0～172.31.255.255

192.168.0.0～192.168.255.255

グローバルアドレス

上記以外のアドレス

「コマンドプロンプト」（または､「MS-DOS プロンプト」）を起動するには、次のようにします。

◆ Windows98 の場合

Windows の [スタート] をクリックして、[プログラム] を選択し、「MS-DOS プロンプト」をクリックします。

◆ WindowsMe の場合

Windows の [スタート] をクリックして、[プログラム] の中から「アクセサリ」を選択し、「MS-DOS プロンプト」をクリックします。

◆ Windows2000 の場合

Windows の [スタート] をクリックして、[プログラム] の中から「アクセサリ」を選択し、「コマンドプロンプト」をクリックします。

◆ WindowsXP の場合

Windows の [スタート] をクリックして、[すべてのプログラム] の中から「アクセサリ」を選択し、「コマンドプロンプト」をクリックします。

ホストになったが「Waiting Join」のままである

相手の接続がなければ「Waiting Join」のままです。ネットワークのバトルやセッションでホストになる場合は、事前にあなたの IP アドレスやいつ接続するかを相手に知らせておいてください。

セッションで音が遅れる

LAN やインターネットが遅いと発音が遅くなる場合があります。なるべく高速な回線をご使用ください。また、**「弾いた音が遅れて発音する」**（p.62）もご覧ください。

セッションでホストコンピュータが鍵盤を押すとプログラムがしばらく止まってしまう

セッションを一度終了し、再度セッションを行ってください。接続の際に参加側コンピュータの IP アドレスが正しく入力されていることをご確認ください。

● BOOK に関する質問

「弾いて表示」にしてもコードが表示されない

バラバラに押さえないように一度に、ゆっくりと弾くようにしてください。検出できるコードは、コード一覧画面に記載されているコードです。検出できないときは、一旦鍵盤から手を離し、もう一度弾きなおしてください。

調べたいコードがコード一覧に載っていない

このコード一覧には、一般的に使われるコードのみが載っています。表記にもいろいろありますので、一度 CHORD NAME の「コードネームについて」にも目を通してみてください。

● その他

チュートリアルやブックの応用編、ヘルプなどが正しく機能しない

チュートリアルやブックの応用編、ヘルプなどのページでは Internet Explorer の機能を利用しています。これらのページを正しく表示するためには、Java スクリプトが有効になっている必要があります。Java スクリプトを有効にするには、コントロールパネルの「インターネットオプション」を開き、「セキュリティ」タブの「レベルのカスタマイズ」を開いて設定してください。

3-6. ユーザーサポートについて

「ユーザーサポート」は、正規のユーザー様だけが受けられるサービスです。サポート時に製品のシリアル番号をお尋ねする場合があります。

NETWORK の BATTLE と SESSION はサポートの対象外です。

「ピアノコード百発百中」を使っていて発生した不具合や、どうしても不明な点があった場合、まずは次の方法でお調べください。それでも解決しない場合は、ユーザーサポート係までお電話か、電子メールでお問い合わせください。

1. まず、この「ユーザーズマニュアル」をよくお読みください。調べたい情報は、「目次」や「索引」を使って探せば、たいていは解決できます。また、「ピアノコード百発百中」の基本的な使い方がよくわからない場合は、「入門編」を読みながら、実際にレッスンを進めてみてください。
3-5. よくある質問とその答え（p.60）には、「ピアノコード百発百中」の使い方に関する質問とその答えを多数掲載してあります。これらの中に同じような質問がないか探してみてください。

2. 実際に操作をしていてわからないことがあったら、F1 キーを押せば、その画面の説明をヘルプで見ることができます。ヘルプにはすべての機能が詳しく説明してあります。

3. 「ユーザーズマニュアル」に載っていない、新しい情報や補足情報などは、KAWAI コンピュータミュージックのホームページの「サポート /FAQ」のコーナーでも提供されます。以下の URL にアクセスし、「サポート /FAQ」のコーナーをお調べください。
http://www.kawai.co.jp/cmusic/

NETWORK の HOME PAGE にも、「FAQ コーナー」があります。

お問い合わせの際には製品のシリアル番号や、製品名とバージョン名、お使いのパソコンの機種や OS の種類などを必ずお知らせください。また、疑問点や問題点を具体的にお知らせください。問題が何度も再現する手順がある場合は、その手順もお知らせください。

以上の方法で解決しない場合は、ユーザーサポート係までお電話か、電子メールでお問い合わせください。

お電話によるお問い合わせ先

サポート電話 : 053-457-1268
サポート受付時間 : 平日 13:00 ～ 17:00
※土日、祝日、長期休暇など弊社の休業日はお電話による受付はいたしません。

電子メールによるお問合せ先

メールアドレス : cmusic@kawai.co.jp

（空白ページ）

索引

アルファベット

A

B

C

D

E

F

G

H

I

J

L

M

N

P

R

S

T

U

W

Y

かな

あ

い

う

お

か

き

ゆ

よ

り

る

れ

ろ

（空白ページ）